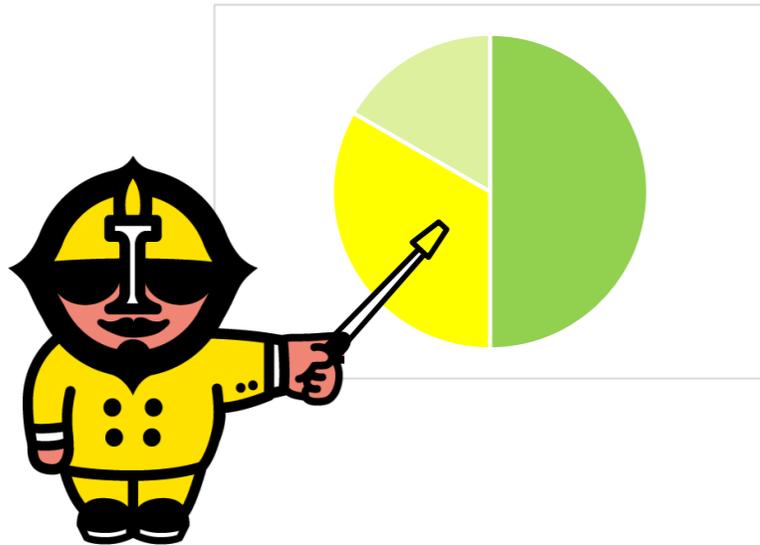


# クレジットカードタッチ決済 データ分析結果資料 (令和7年2月1日から令和7年7月31日)

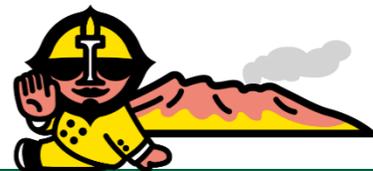


## 鹿児島市交通局

※資料中「SMCC」とあるものは、三井住友カード株式会社の会員情報を  
基にした分析結果です。

# 目次

□ 鹿児島市交通局におけるタッチ決済導入状況	p 2		
□ サマリ	p 3		
<b>1. 利用全体像</b>			
□ 利用状況全体像	p 7		
□ 利用状況全体像(インバウンド)	p 8		
□ 利用推移	p10		
□ 利用推移(インバウンド)	p11		
□ 平均利用回数 時系列推移	p14		
□ 曜日・時間帯別利用傾向	p15		
□ 乗車駅別利用回数推移	p17		
□ (参考資料:3月における利用回数の増加要因)			
<b>2. 利用者属性(SMCC会員)</b>			
□ 性別・年代別・居住エリア別シェア	p21		
□ 利用属性(性別・年代別)時系列推移	p22		
□ 利用属性(地域別) 時系列推移	p23		
□ 乗車駅別 利用者属性	p24		
<b>3. 観光客消費動向</b>			
□ サマリ		p27	
□ ルート別 乗降回数ランキング(観光客)		p31	
□ 国地域別 ルート乗降回数・シェア(観光客)		p33	
□ 国・地域別・ルート別 1日あたり1日消費単価(観光客)		p35	
□ タッチ決済利用当日の消費傾向		p37	
□ タッチ決済利用当日の消費傾向(インバウンド)		p38	
□ タッチ決済利用当日の消費動向(日本人観光客)		p39	
□ タッチ決済利用当日の消費動向(インバウンド)		p40	
□ 駅・バス停利用率ランキング(日本人観光客)		p41	
□ 駅・バス停利用率ランキング(インバウンド)		p42	



# 鹿児島市交通局におけるtransit（以下、タッチ決済）導入状況

## 市電

2022/11/1～2023/3/27 ※実証実験期間

対象ブランド：VISA  
導入車両：25両

2023/3/28～

対象ブランド：VISA、JCB、  
AMERICAN EXPRESS、  
Diners Club、DISCOVER  
導入車両：全車両（55両）

2023/9/18～

対象ブランド：銀聯  
導入車両：全車両（55両）

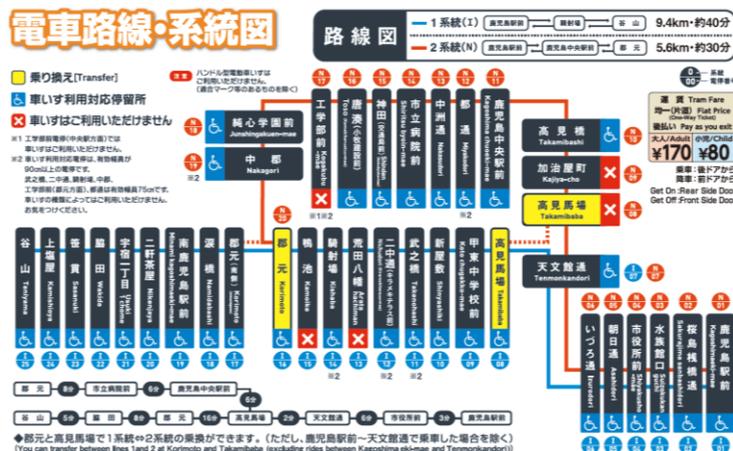
2024/3/1～

★上限設定割引開始



2025/8/1～

対象ブランド：Master card  
導入車両：全車両（55両）



路線番号	路線名	対応ブランド
1	伊勢湾ニュータウン線	市役所前
2	伊勢湾ニュータウン線	鹿児島中央駅
3	五里団地線	鹿児島中央駅
4	城山二丁目線	市役所前
5	口占屋線(全営業所前)	市役所前
6	西土里団地線	市役所前
7	西土里団地線	鹿児島中央駅
8	西土里団地線	鹿児島中央駅
9	西土里団地線	鹿児島中央駅
10	西土里団地線	鹿児島中央駅
11	鴨池(冷水)線	鴨池
12	鴨池(冷水)線	鴨池
13	鴨池(冷水)線	鴨池
14	鴨池(冷水)線	鴨池
15	鴨池(冷水)線	鴨池
16	鴨池(冷水)線	鴨池
17	鴨池(冷水)線	鴨池
18	鴨池(冷水)線	鴨池
19	鴨池(冷水)線	鴨池
20	鴨池(冷水)線	鴨池
21	鴨池(冷水)線	鴨池
22	鴨池(冷水)線	鴨池
23	鴨池(冷水)線	鴨池
24	鴨池(冷水)線	鴨池
25	鴨池(冷水)線	鴨池
26	鴨池(冷水)線	鴨池
27	鴨池(冷水)線	鴨池
28	鴨池(冷水)線	鴨池
29	鴨池(冷水)線	鴨池
30	鴨池(冷水)線	鴨池
31	鴨池(冷水)線	鴨池
32	鴨池(冷水)線	鴨池
33	鴨池(冷水)線	鴨池
34	鴨池(冷水)線	鴨池
35	鴨池(冷水)線	鴨池
36	鴨池(冷水)線	鴨池
37	鴨池(冷水)線	鴨池
38	鴨池(冷水)線	鴨池
39	鴨池(冷水)線	鴨池
40	鴨池(冷水)線	鴨池
41	鴨池(冷水)線	鴨池
42	鴨池(冷水)線	鴨池
43	鴨池(冷水)線	鴨池
44	鴨池(冷水)線	鴨池
45	鴨池(冷水)線	鴨池
46	鴨池(冷水)線	鴨池
47	鴨池(冷水)線	鴨池
48	鴨池(冷水)線	鴨池
49	鴨池(冷水)線	鴨池
50	鴨池(冷水)線	鴨池
51	鴨池(冷水)線	鴨池
52	鴨池(冷水)線	鴨池
53	鴨池(冷水)線	鴨池
54	鴨池(冷水)線	鴨池
55	鴨池(冷水)線	鴨池
56	鴨池(冷水)線	鴨池
57	鴨池(冷水)線	鴨池
58	鴨池(冷水)線	鴨池
59	鴨池(冷水)線	鴨池
60	鴨池(冷水)線	鴨池
61	鴨池(冷水)線	鴨池
62	鴨池(冷水)線	鴨池
63	鴨池(冷水)線	鴨池
64	鴨池(冷水)線	鴨池
65	鴨池(冷水)線	鴨池
66	鴨池(冷水)線	鴨池
67	鴨池(冷水)線	鴨池
68	鴨池(冷水)線	鴨池
69	鴨池(冷水)線	鴨池
70	鴨池(冷水)線	鴨池

## 市バス

2024/3/1～

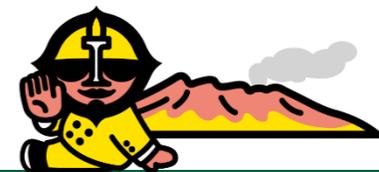
対象ブランド：VISA、JCB、AMERICAN EXPRESS、  
Diners Club、DISCOVER銀聯  
導入車両：全車両（124両）  
★上限設定割引開始



2025/8/1～

対象ブランド：Master card  
導入車両：全車両（124両）





## サマリ (全体傾向)

### 利用状況の概要

- 導入当初の急激な増加傾向は落ち着いたものの、利用者・決済金額ともに増加傾向は続いている。
- 市電・市バスともに直近の平均利用回数は3.0回を超え、利用者への浸透が見られる。

全体傾向

市電

- **利用回数**は令和5年3月以降、感染症対策の緩和や対象カードブランドの拡大で急激に増加、現在のペースは落ち着きつつあるものの、増加傾向が続いている。
- **平均利用回数**は導入初期に大きく、現在は緩やかなペースで上昇しており、直近は**3.2~3.8回**の範囲で安定して推移。

市バス

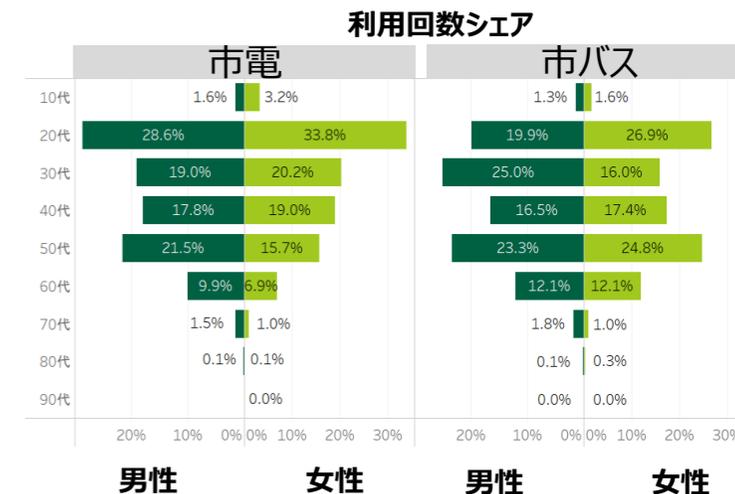
- **利用回数**の伸びは、市電の実績と比較して**緩やかな水準**で増加。
- **平均利用回数**については一貫して大きな変動がないが、6月~7月において、初めて**3.0回**を超えた。



## 年齢・居住地別傾向

### 若年層から年配層へタッチ決済利用が拡大

- 市電は、導入当初20代がボリュームゾーンであったが、**2025年4月以降は50代がボリュームゾーン**となっている。
- 市バスは、総利用回数に占める**50代の利用回数が市電より大きい**。



### 鹿児島県内居住者にも、タッチ決済利用が浸透

- 利用回数シェアでは**鹿児島県内居住者による利用が最も多く**、次いで関東、九州（鹿児島県以外）と続く。
- 市電と市バス両方の利用回数シェアにおいて、導入時40%弱であった鹿児島県内居住者の利用が、**2025年7月時点においては60%程度**になっている。

## 駅別利用者属性傾向

### 利用者の多い駅では男性比率が半数を超える傾向、いづろ通り近辺の駅では女性比率が高い

- 市電では、利用者数が5,000人を超える駅において男性比率が50%を超えるが、「いづろ通」はその中で最も男性比率が低い。
- バスでは、利用者数が上位5位以内の「いづろ」を除く駅では男性比率が50%を超えるが、「いづろ」と、その隣駅の「金生町」は40%以下である。



①  
全体傾向  
(鉄道・バス)

## 件数・回数ともに堅調な増加

- 2025年1月から6カ月間で、インバウンドの利用者数と利用回数は月平均で9%程度成長しており、**前期間と同程度の増加率を維持**。
- 平均利用回数は0.05回の微増であり、**インバウンド観光客の利用の仕方や周遊パターンに大きな変化は無く、利用増は新規利用者によるところが大きい**と考えられる。

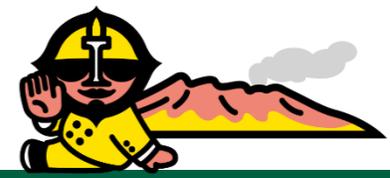
## 月単位では季節による変化の影響が大きく、日単位ではクルーズ船寄港の影響が大きいと考えられる

- 2024年と2025年において、**3月～5月で利用回数が増加し、5月をピークに利用回数が減少する周期的な変動が見られる**
- 日別で利用回数のランキングを見た場合、**利用回数上位の日には外国籍クルーズ船の寄港があるパターンが多い**

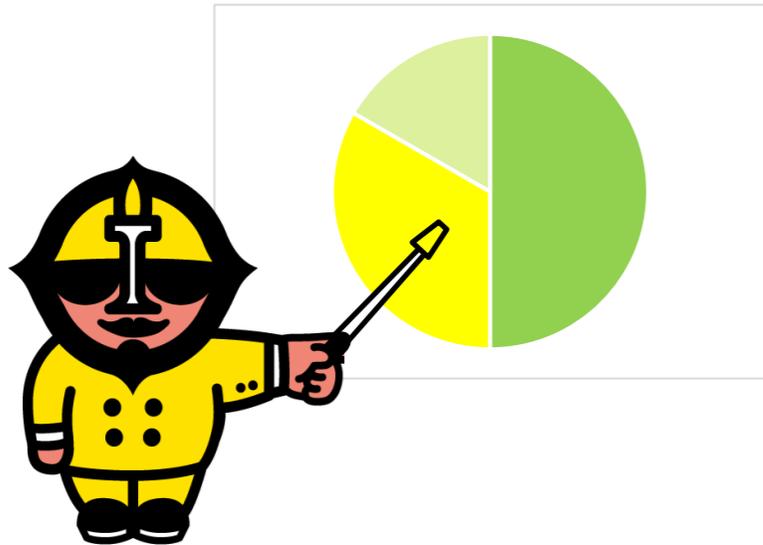
②  
国・地域別傾向

## アジアからの観光客が利用者の約半分を占める

- 市電と市バスで共通して、**アジア、ヨーロッパ、北米の順に利用回数に占める割合が大きく、例年3月～5月に利用回数が増加する傾向にある**



# 1. 利用全体像



# 市電 市バス 利用状況全体像



- 第3回公開レポート（～2025年1月）から6カ月で**月平均成長率は利用回数6.6%、利用者数5.4%**
- 平均利用回数も約0.45回増加**し、電車・バスにおけるタッチ決済の普及も進んでいる

	総利用回数	ユニーク利用者数	平均利用回数	総利用売上
2025年1月末時点 (第3回公開レポート)	1,188,100 回	181,070 人	6.56 回	201,908,401 円
2025年7月末時点	1,744,418 回	248,715 人	7.01 回	298,993,591 円
<b>【※内訳】</b>	<b>月平均成長率 (CMGR) 6.6%</b>	<b>月平均成長率 (CMGR) 5.4%</b>	<b>回数増加幅 +0.45回</b>	<b>月平均成長率 (CMGR) 6.8%</b>

市電	1,499,031 回	219,444 人	6.83 回	243,595,951 円
市バス	245,387 回	60,260 人	4.07 回	55,397,640 円



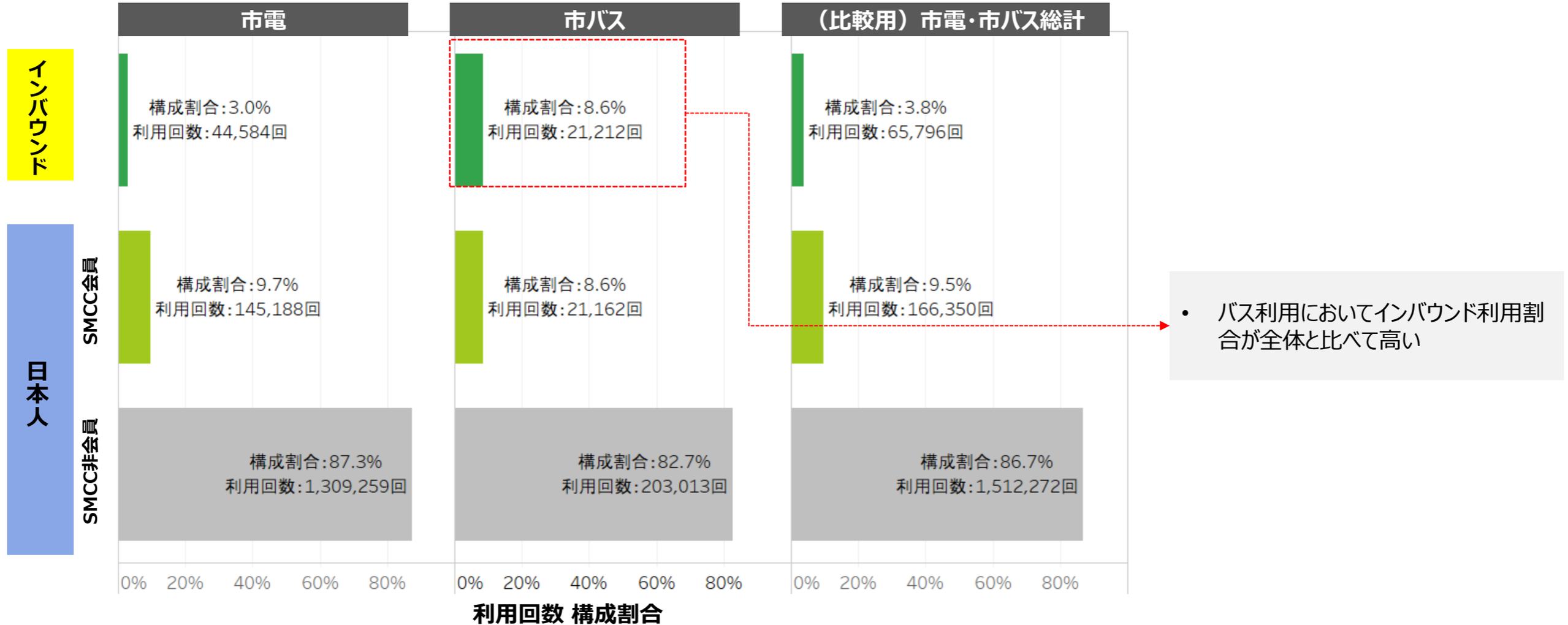
- 第3回公開レポート（2025年1月）から6カ月で利用者数・回数ともに月平均成長率9%程度で、利用者全体と比較してインバウンドの成長率は高い傾向にある。
- 内訳の平均利用回数を見ると市電に対して市バスの利用が多い。

	総利用回数	ユニーク利用者数	平均利用回数	総利用売上
2025年1月末時点 (第3回公開レポート)	38,722 回	14,374 人	2.69 回	7,182,310 円
2025年7月末時点	65,796 回	24,036 人	2.74 回	12,383,430 円
<b>【※内訳】</b>	月平均成長率 (CMGR) 9.2%	月平均成長率 (CMGR) 8.9%	回数増加幅 +0.05回	月平均成長率 (CMGR) 9.5%

市電	44,584 回	18,480 人	2.41 回	7,515,460 円
市バス	21,212 回	9,686 人	2.19 回	4,867,970 円



- インバウンドでは、市バス利用の割合が高く、全体総計と比べても高い水準となっている。

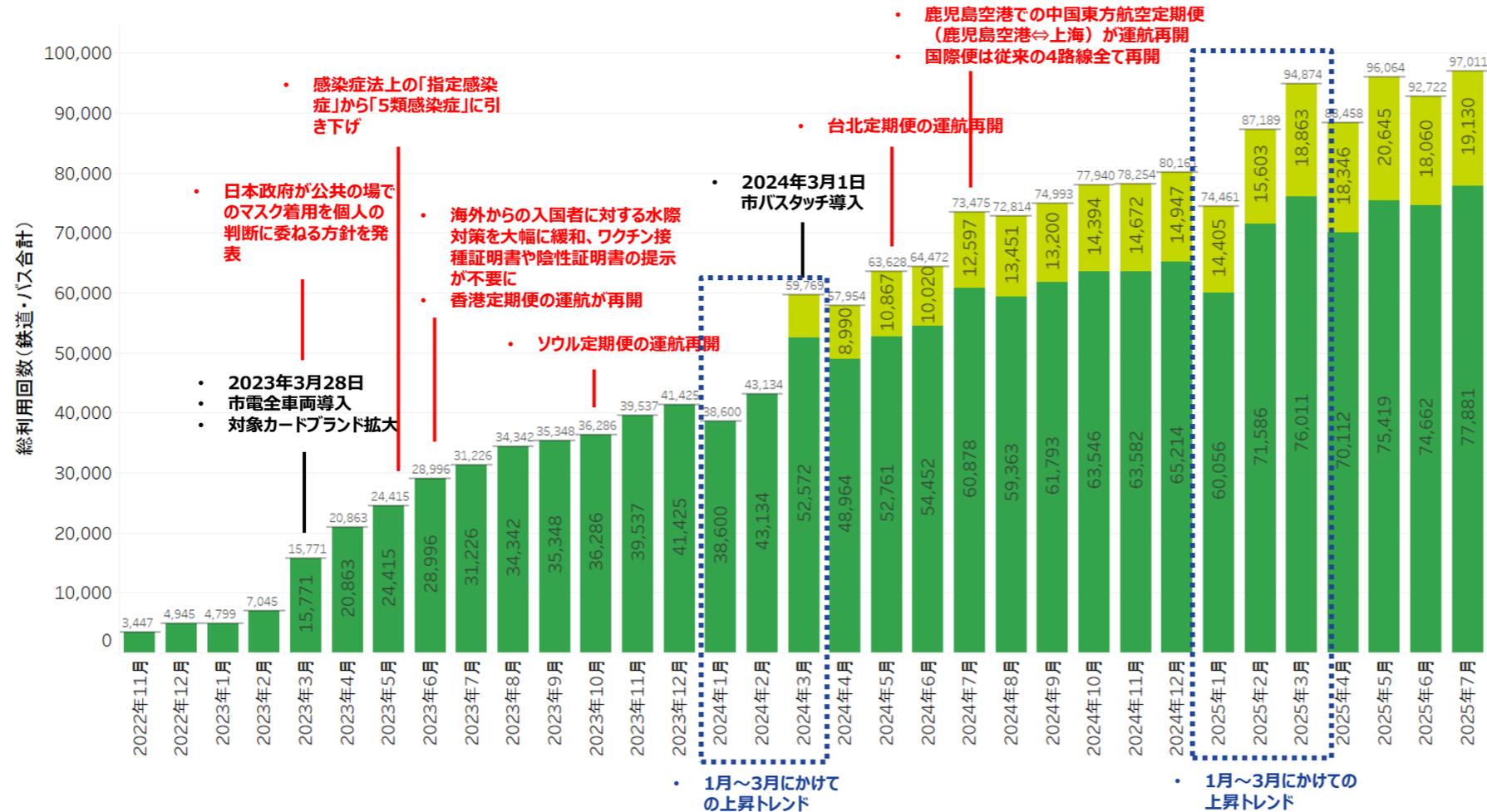


# 市電 市バス 利用推移



- 市電・市バスともに利用回数は引き続き増加傾向。
- 1月～3月にかけて利用回数が増加する傾向（下図青枠）も見られる。

■ 市電    黒文字：市電/市バスにおける取組み  
■ 市バス    赤文字：外部環境変化



**2022/11/1~2023/3/27**

導入車両：25両のみ  
対象ブランド：VISA

**2023/3/28~2023/9/18**

導入車両：全車両55両  
対象ブランド：VISA、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club、DISCOVER

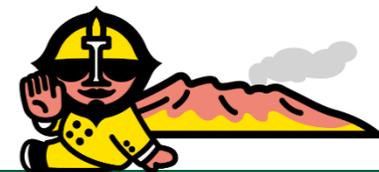
**2023/9/18以降**

導入車両：全車両  
対象ブランド：銀聯

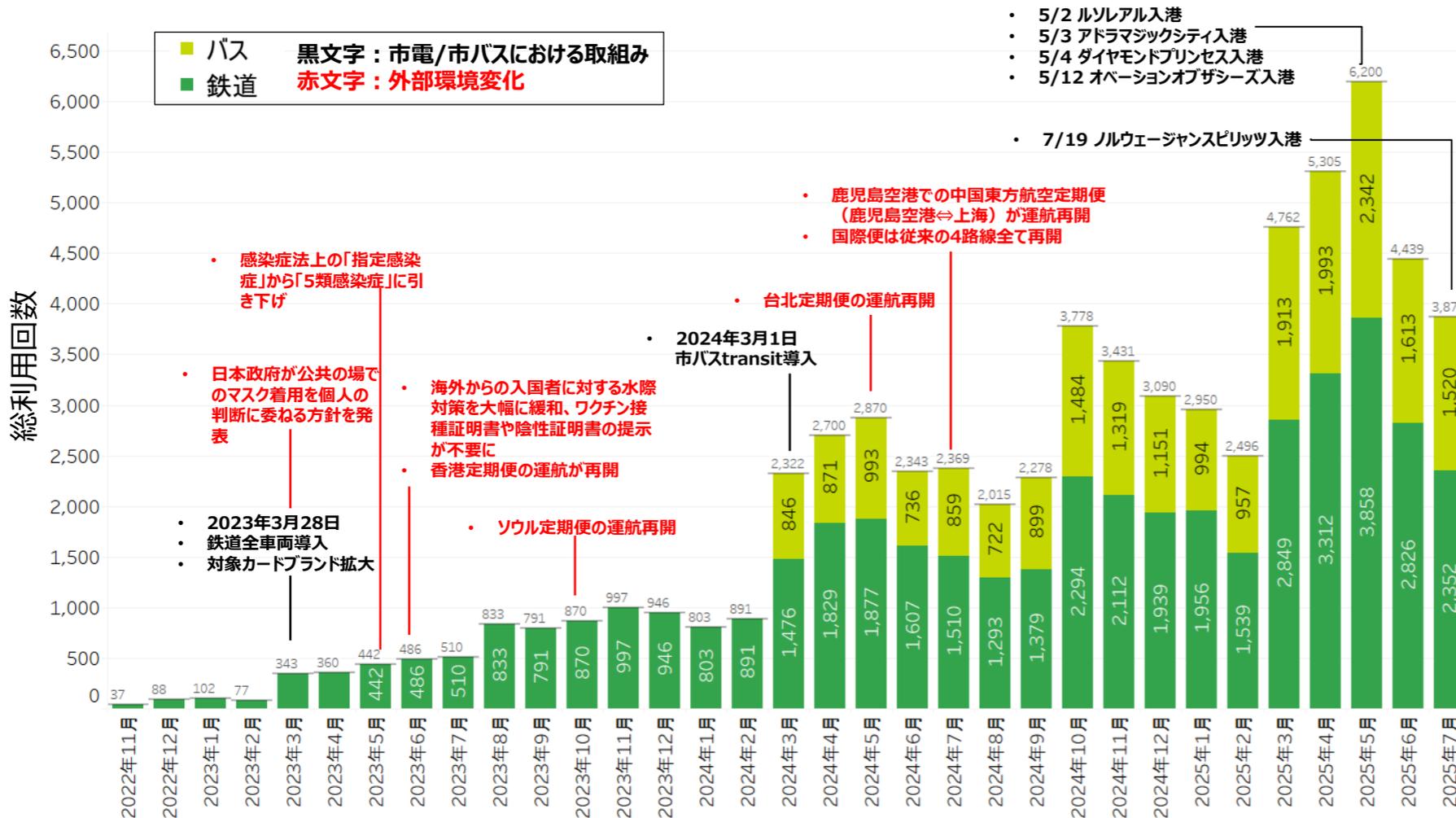
**2024/3/1以降**

導入車両：全車両  
対象ブランド：VISA、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club、DISCOVER、銀聯

# 市電 市バス 利用推移 インバウンド



- 2024年と25年において、3月～5月で利用回数が増加し、5月をピークに利用回数が減少する傾向が見られる。
- 日別でみた場合、クルーズ船の来航がある日が利用回数上位になる傾向にある。



## 利用回数 日別TOP5

順位	日付	回数	事由
1位	2025年5月3日(土)	525回	アド라마ジックシティ入港
2位	2025年5月4日(日)	414回	ダイヤモンドプリンセス入港
3位	2025年7月19日(土)	322回	ノルウェージャンスピリッツ入港
4位	2025年5月2日(金)	308回	ルソリアル入港
5位	2025年5月12日(月)	303回	オベーションオブザシーズ入港

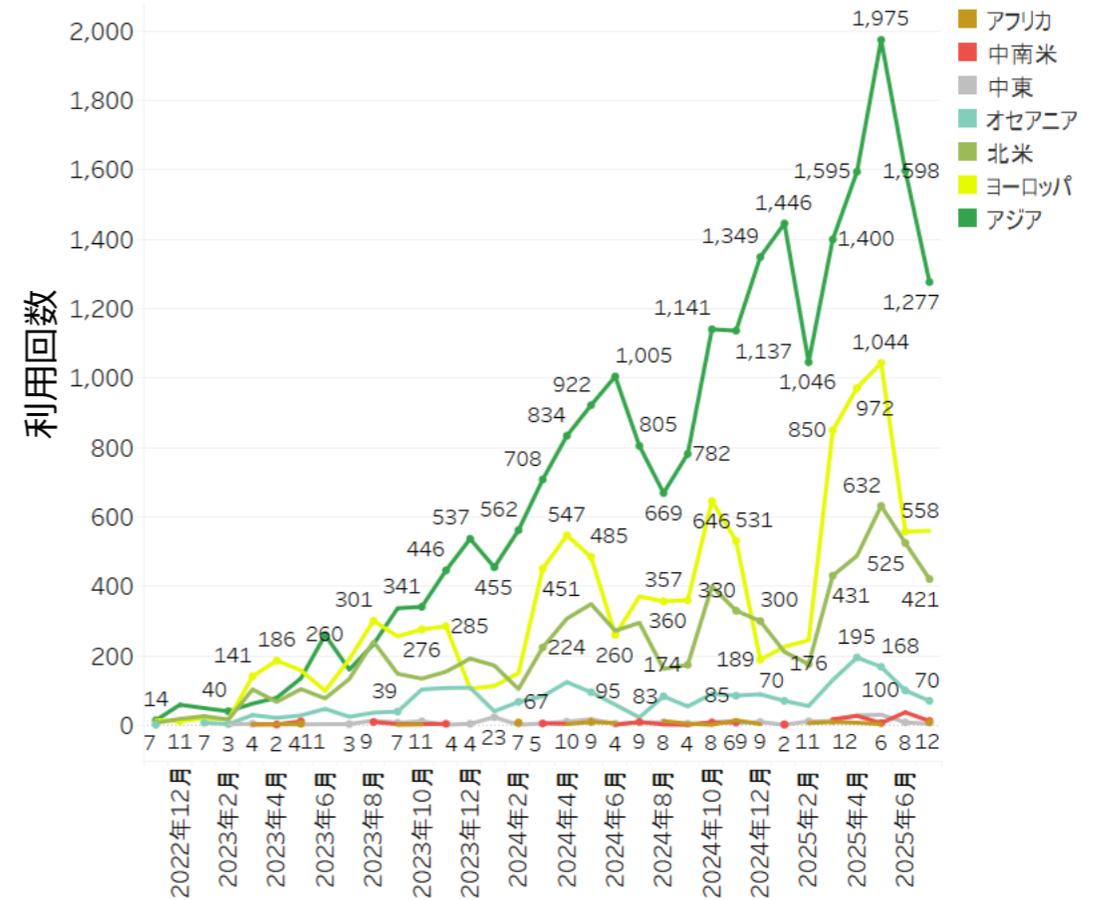
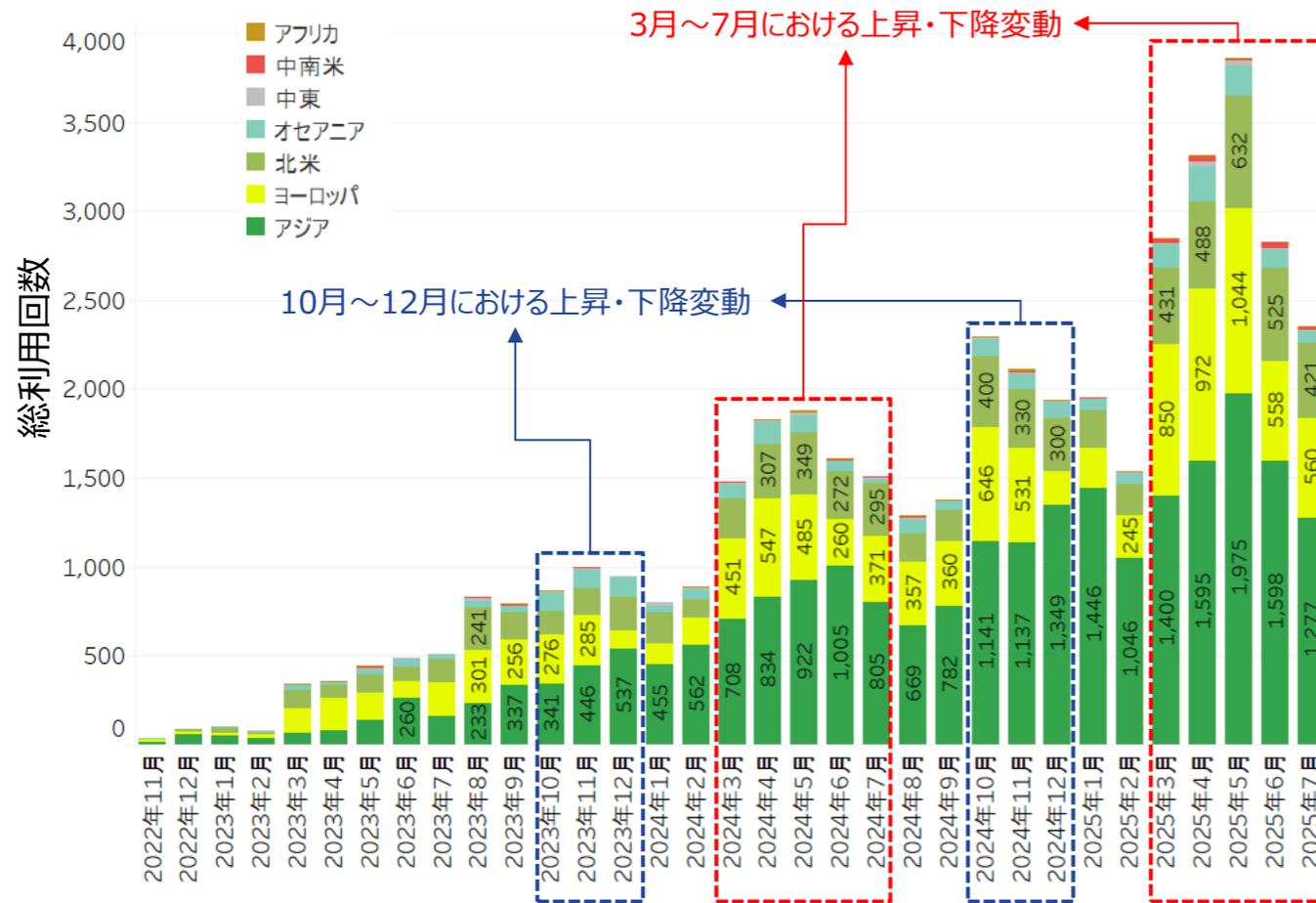
インバウンド

\*鹿児島県公表の「観光客船の入港実績」より作成

# 市電 利用推移 インバウンド



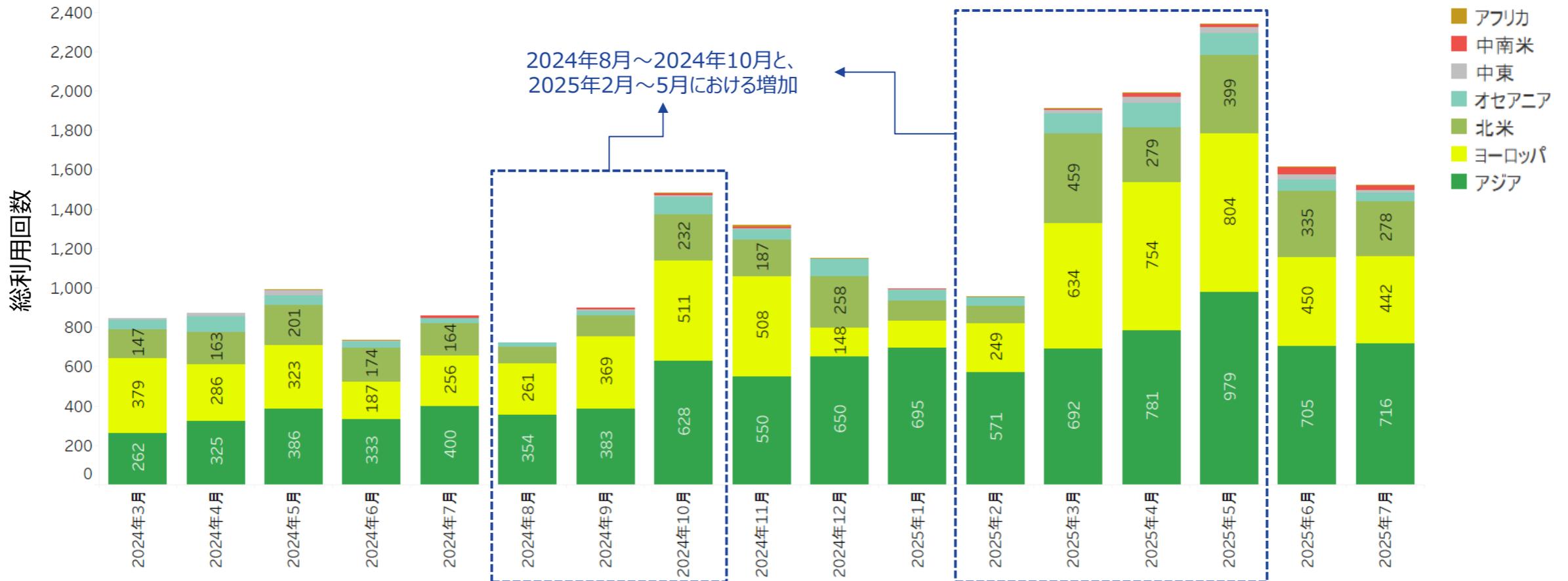
- ・インバウンドの利用回数は、2023年8月以降、10月～12月と3月～7月にかけて**周期的に変動**している。
- ・エリアごとでは、導入時から**アジアとヨーロッパの利用が特に増加**している。



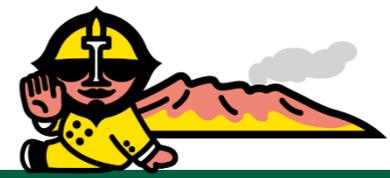
# 市バス 利用推移 インバウンド



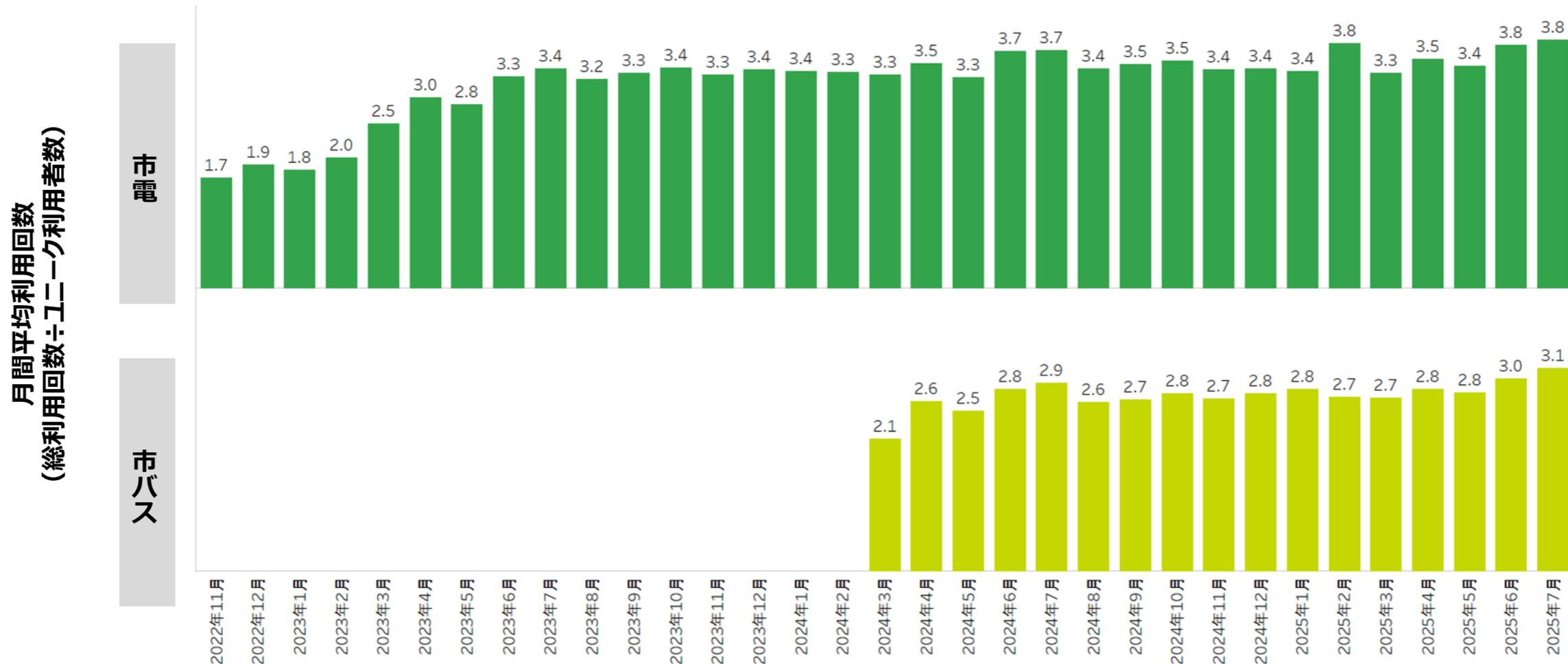
- 市バスの利用状況は**2024年8月～10月**と、**2025年2月～5月**において**利用回数の急激な増加**が見られ、特に**アジアとヨーロッパの増加**が寄与している。



# 市電 市バス 平均利用回数 時系列推移



- 市電の平均利用回数は導入初期には上昇が見られたものの、直近約2年では3.2～3.8回の水準を安定的に推移。
- バスにおいても目立った上昇は見られないが、2025年6月～7月で平均利用回数が導入後初めて3.0回を超えた。
- 月に複数回、公共交通でタッチ決済を利用することが定着している。





- 利用者の分布は導入当初から大きく変化していない。
- 金・土曜日17～18時付近に利用が集中する傾向であり、休前日の外出（飲食等での利用）が多いことが予想される。

## 利用回数構成比

導入時点～1年後（2022年11月～2023年10月）

乗車時間	曜日						
	月	火	水	木	金	土	日
05	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
06	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
07	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	1.0%	0.5%	0.4%
08	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.3%	0.9%	0.7%
09	0.8%	0.8%	0.7%	0.8%	0.8%	1.0%	0.9%
10	0.7%	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	1.0%	0.9%
11	0.7%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	1.1%	1.0%
12	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	1.1%	1.0%
13	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	1.1%	1.0%
14	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	1.1%	1.0%
15	0.8%	0.7%	0.7%	0.8%	0.9%	1.2%	1.0%
16	0.9%	0.9%	0.8%	0.9%	1.0%	1.4%	1.1%
17	1.2%	1.2%	1.3%	1.3%	1.5%	1.8%	1.2%
18	1.3%	1.4%	1.4%	1.4%	2.0%	1.8%	1.1%
19	0.9%	1.0%	0.9%	1.0%	1.3%	1.2%	0.9%
20	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	0.8%	0.9%	0.7%
21	0.5%	0.5%	0.6%	0.5%	0.8%	0.8%	0.6%
22	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.5%	0.5%	0.3%
23	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

導入1年後～2年後（2023年11月～2024年10月）

曜日						
月	火	水	木	金	土	日
05	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
06	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
07	0.8%	0.9%	0.8%	0.9%	0.9%	0.5%
08	1.2%	1.3%	1.2%	1.3%	1.3%	0.9%
09	0.8%	0.7%	0.8%	0.7%	0.8%	1.0%
10	0.7%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	1.0%
11	0.7%	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	1.1%
12	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	1.1%
13	0.7%	0.6%	0.7%	0.7%	0.8%	1.2%
14	0.7%	0.6%	0.7%	0.7%	0.8%	1.1%
15	0.8%	0.7%	0.8%	0.8%	0.9%	1.2%
16	0.9%	0.8%	0.9%	0.9%	1.1%	1.4%
17	1.1%	1.2%	1.2%	1.3%	1.6%	1.8%
18	1.3%	1.4%	1.4%	1.4%	1.9%	1.8%
19	0.9%	0.9%	0.9%	1.0%	1.3%	1.2%
20	0.6%	0.6%	0.6%	0.7%	0.8%	0.9%
21	0.5%	0.5%	0.6%	0.6%	0.8%	0.9%
22	0.3%	0.3%	0.3%	0.4%	0.5%	0.5%
23	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

導入2年後～直近（2024年11月～2025年7月）

曜日						
月	火	水	木	金	土	日
05	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
06	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
07	0.9%	0.9%	0.9%	1.0%	1.0%	0.5%
08	1.1%	1.2%	1.2%	1.2%	1.3%	0.9%
09	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	0.8%	1.0%
10	0.7%	0.7%	0.6%	0.6%	0.7%	1.0%
11	0.7%	0.6%	0.6%	0.7%	0.7%	1.1%
12	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	1.1%
13	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	1.1%
14	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	0.7%	1.1%
15	0.8%	0.7%	0.8%	0.7%	0.9%	1.2%
16	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	1.0%	1.4%
17	1.2%	1.3%	1.3%	1.3%	1.6%	1.8%
18	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	2.0%	1.8%
19	0.9%	1.0%	1.0%	1.0%	1.3%	1.2%
20	0.6%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	0.9%
21	0.5%	0.5%	0.6%	0.6%	0.8%	0.8%
22	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.5%	0.5%
23	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

\*各3期間における総利用回数で除した構成比率を記載

# 市バス 曜日・時間帯別利用傾向

- 導入時点から直近までを通して通勤時間帯にあたる朝7～8時付近の利用が多い状態が継続しており、市電と同様に、利用傾向に大きな変化は無いと考えられる。

## 利用回数構成比

導入時点～1年後（2024年3月～2025年2月）

乗車時間	曜日						
	月	火	水	木	金	土	日
06	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%	0.1%
07	1.3%	1.6%	1.5%	1.5%	1.6%	0.5%	0.3%
08	1.1%	1.2%	1.3%	1.2%	1.3%	0.8%	0.6%
09	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	1.1%	0.9%	0.8%
10	0.7%	0.7%	0.6%	0.6%	0.7%	1.0%	0.9%
11	0.8%	0.7%	0.7%	0.7%	0.8%	1.0%	1.1%
12	0.9%	0.8%	0.9%	0.8%	1.0%	1.1%	1.2%
13	0.9%	0.8%	0.8%	0.7%	0.9%	1.3%	1.2%
14	0.9%	0.8%	0.7%	0.8%	0.9%	1.2%	1.2%
15	0.9%	0.8%	0.8%	0.8%	0.9%	1.3%	1.2%
16	1.0%	0.9%	0.9%	0.9%	1.1%	1.4%	1.2%
17	1.3%	1.3%	1.5%	1.4%	1.6%	1.6%	1.1%
18	1.1%	1.2%	1.1%	1.2%	1.5%	1.3%	0.8%
19	0.8%	0.8%	0.7%	0.8%	0.9%	0.9%	0.7%
20	0.6%	0.5%	0.5%	0.5%	0.6%	0.8%	0.5%
21	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.6%	0.6%	0.4%
22	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%	0.1%
23	0.0%	0.0%			0.0%		

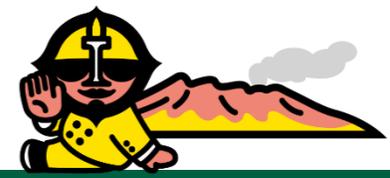
導入1年後～直近（2025年3月～2025年7月）

乗車時間	曜日						
	月	火	水	木	金	土	日
06	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%	0.1%
07	1.6%	1.6%	1.7%	1.7%	1.8%	0.5%	0.4%
08	1.2%	1.3%	1.3%	1.3%	1.4%	0.8%	0.6%
09	0.7%	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%	0.9%	0.8%
10	0.7%	0.7%	0.7%	0.6%	0.7%	1.1%	0.9%
11	0.8%	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%	1.1%	1.1%
12	0.9%	0.8%	0.9%	0.9%	0.8%	1.2%	1.1%
13	0.8%	0.7%	0.8%	0.7%	0.8%	1.2%	1.1%
14	0.8%	0.8%	0.8%	0.7%	0.8%	1.1%	1.1%
15	0.8%	0.8%	0.9%	0.8%	0.8%	1.3%	1.2%
16	0.9%	0.9%	1.0%	0.9%	1.0%	1.4%	1.1%
17	1.3%	1.4%	1.5%	1.4%	1.8%	1.5%	1.0%
18	1.2%	1.2%	1.2%	1.3%	1.5%	1.2%	0.8%
19	0.8%	0.9%	0.8%	0.9%	0.9%	0.9%	0.8%
20	0.5%	0.5%	0.6%	0.6%	0.6%	0.8%	0.5%
21	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.6%	0.5%	0.3%
22	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%

\*各2期間における総利用回数で除した構成比率を記載

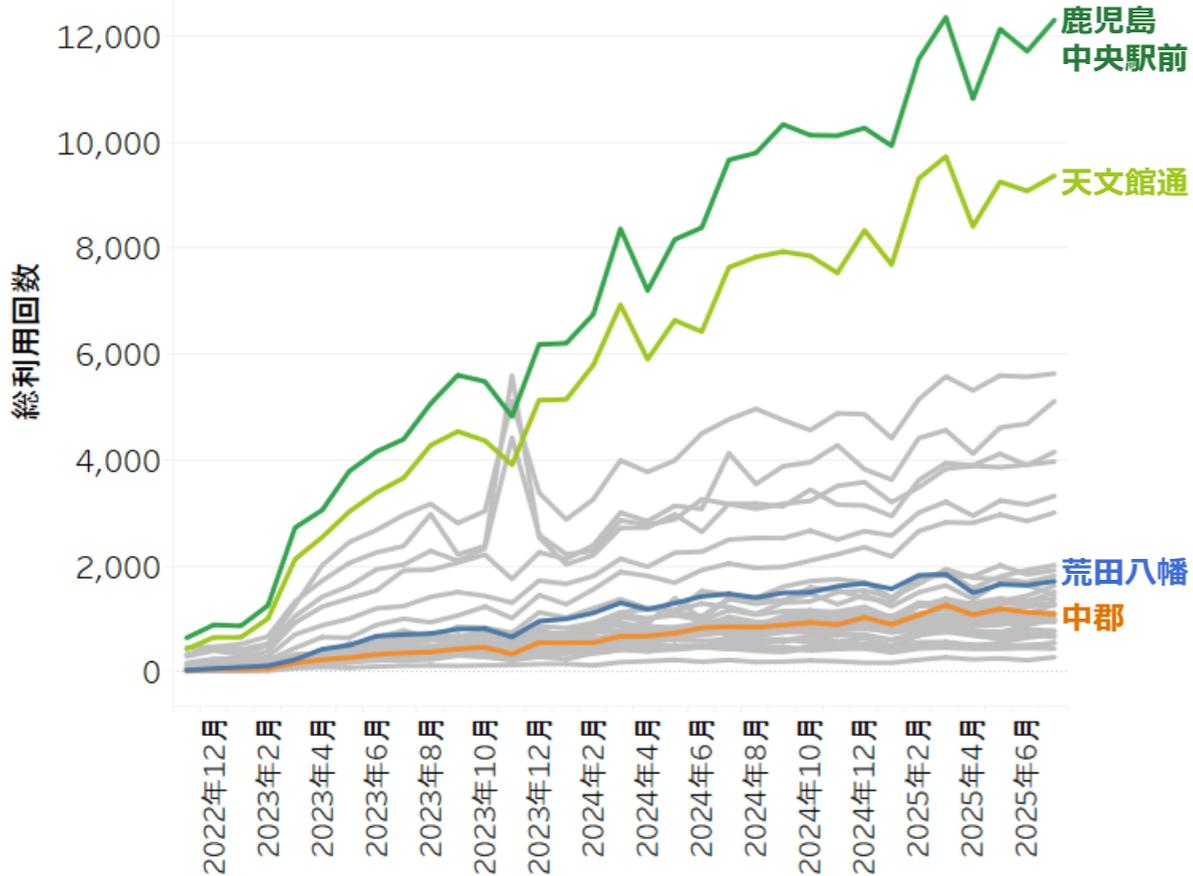


# 乗車駅別利用回数推移

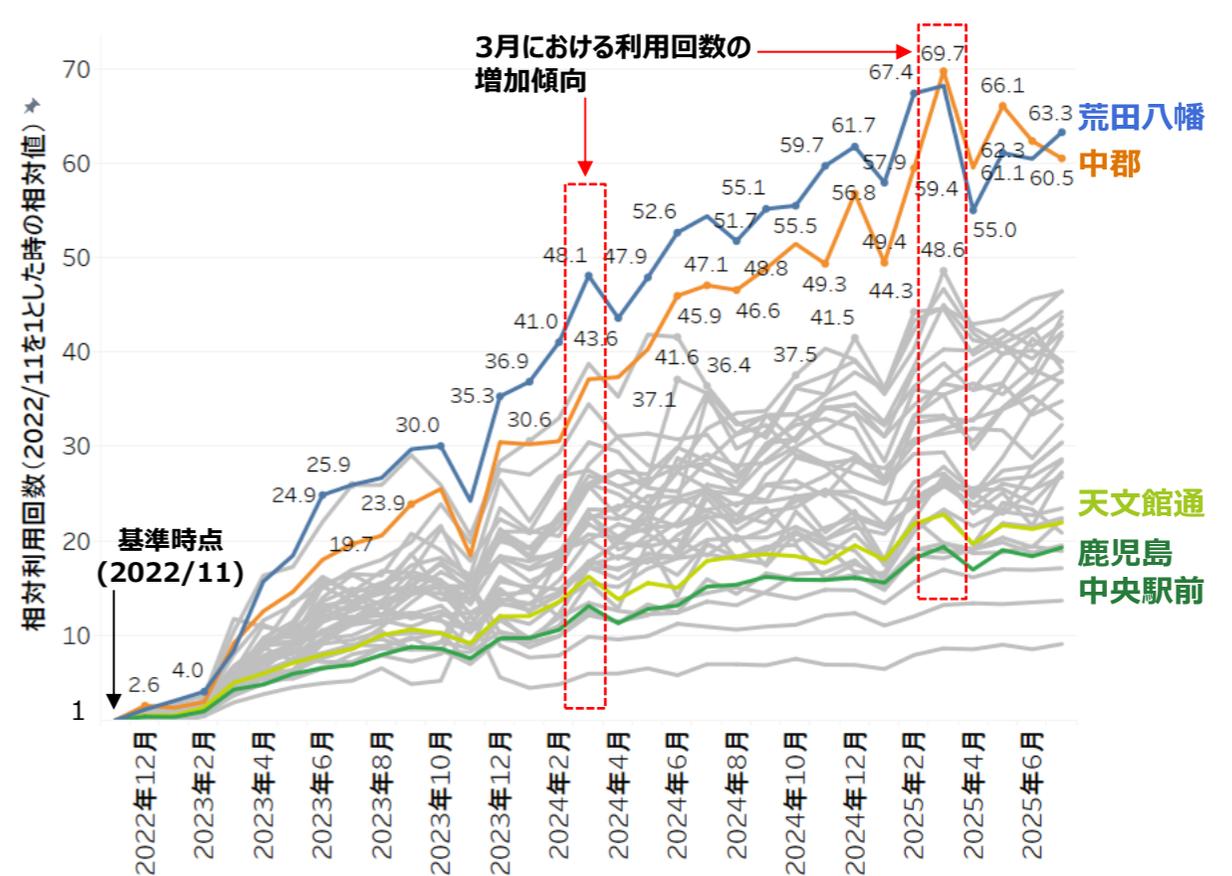


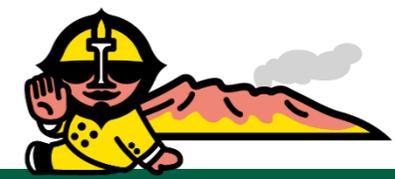
- 利用回数は「鹿児島中央駅前」「天文館通」が全期間において多く（左図）、導入時からの相対値では「荒田八幡」「中郡」が上昇率が高い（右図）。
- 導入以降継続して利用回数は増加しているが、特に3月において多くの駅で利用回数が増加する傾向にある。

### 総利用回数



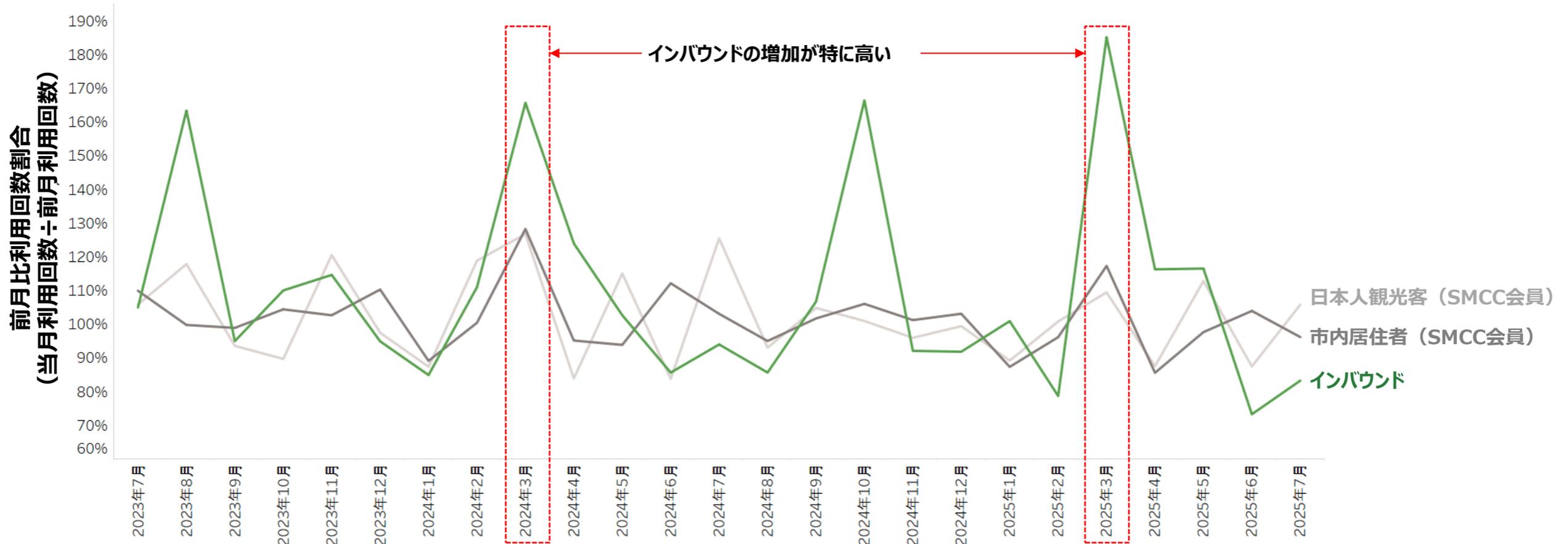
### 相対利用回数（導入年月を1とした場合の相対値）





- 利用回数の対前月増加率の推移を見ると、2024年3月と2025年3月はインバウンド、日本人観光客、市内居住者の全てにおいて利用者数が増えているが、**特にインバウンドにおいて増加が顕著**であった。

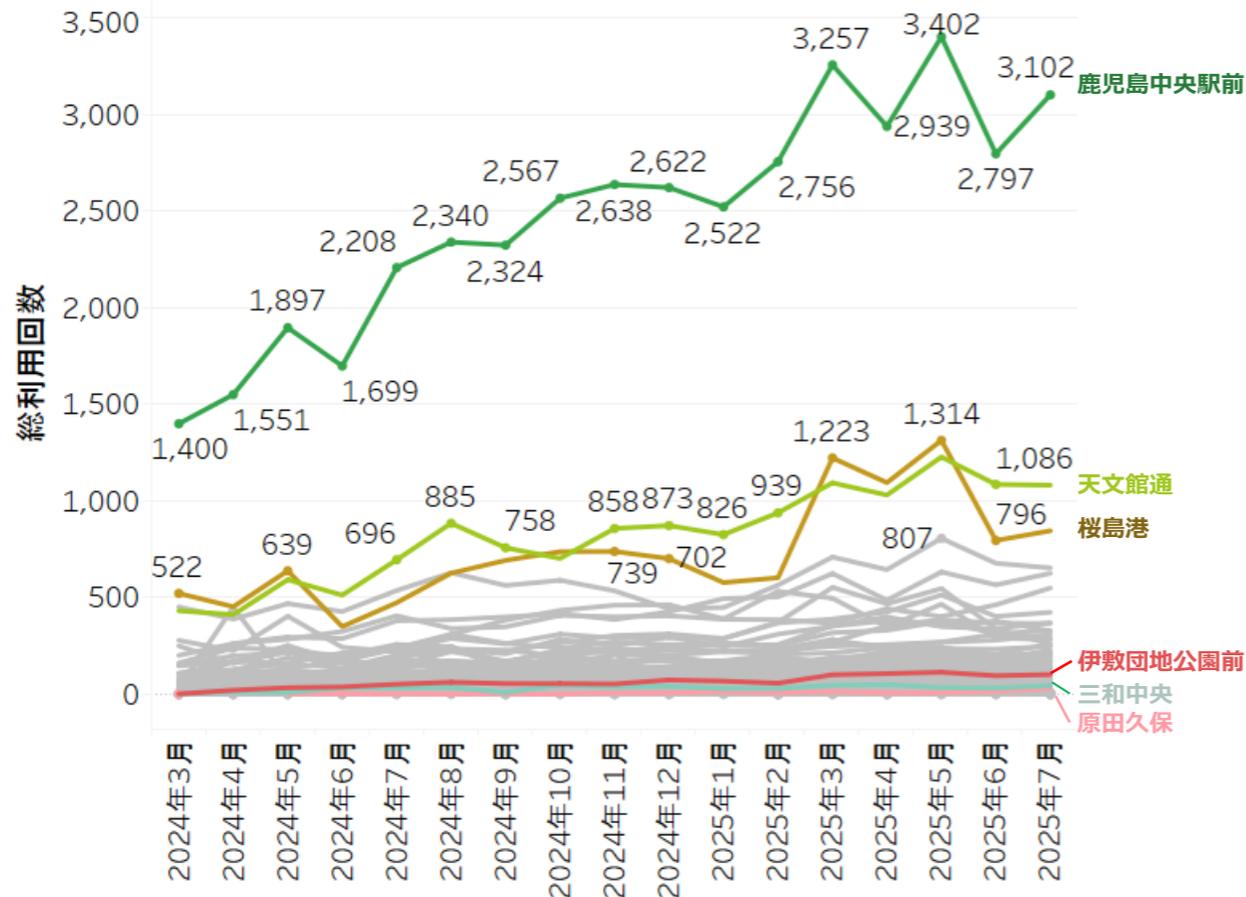
前月比利用回数割合（当該月の利用回数÷前月の利用回数）



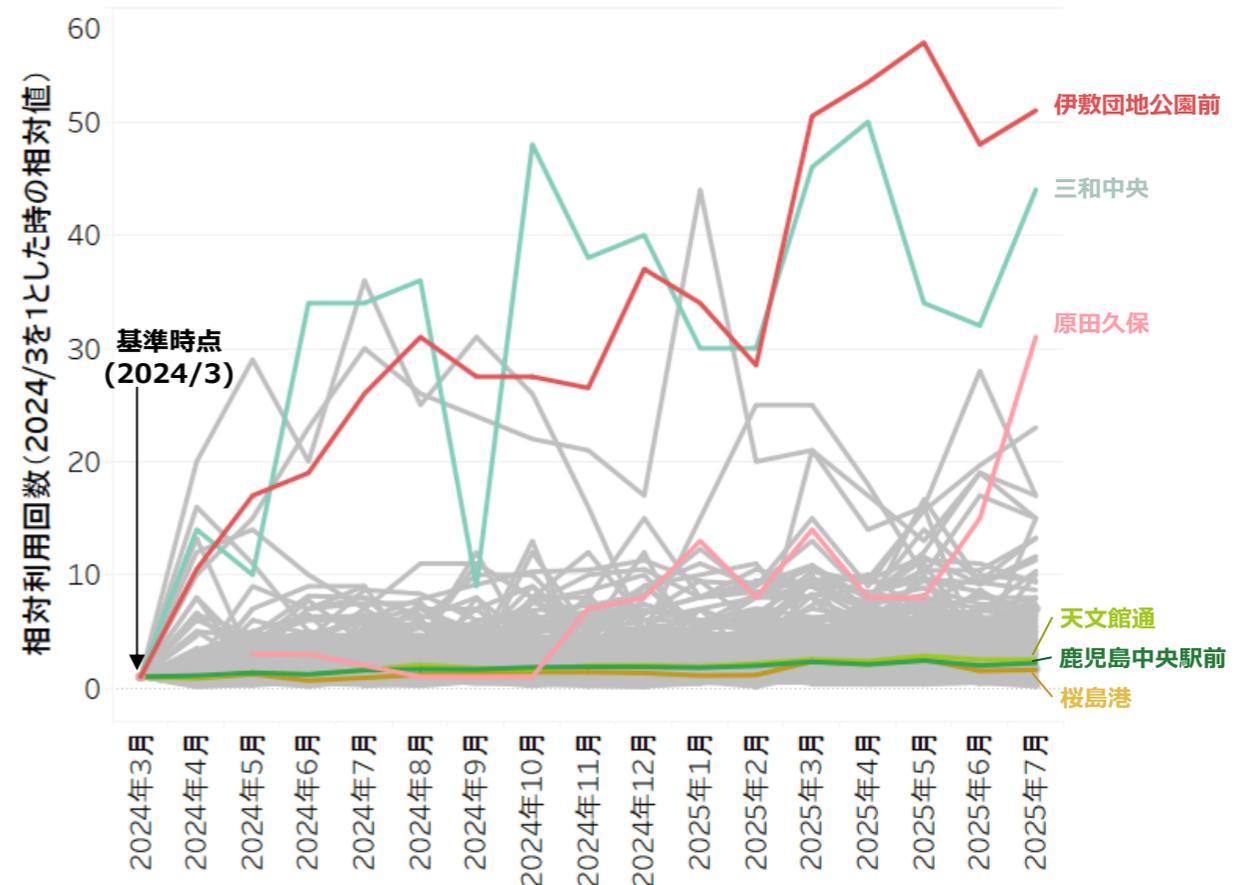


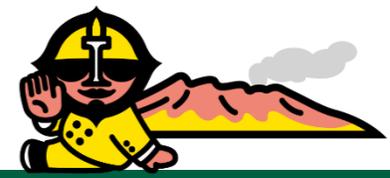
- 利用回数上位の「鹿児島中央駅」「天文館通」「桜島港」において、2024年と2025年の3月と5月において利用回数の上昇が見られ、春休み・ゴールデンウィーク等の観光客利用の増加が伺える。
- 導入時と比較した相対利用回数においては、「原田久保」の利用が2025年6月以降上昇が見られる。

総利用回数

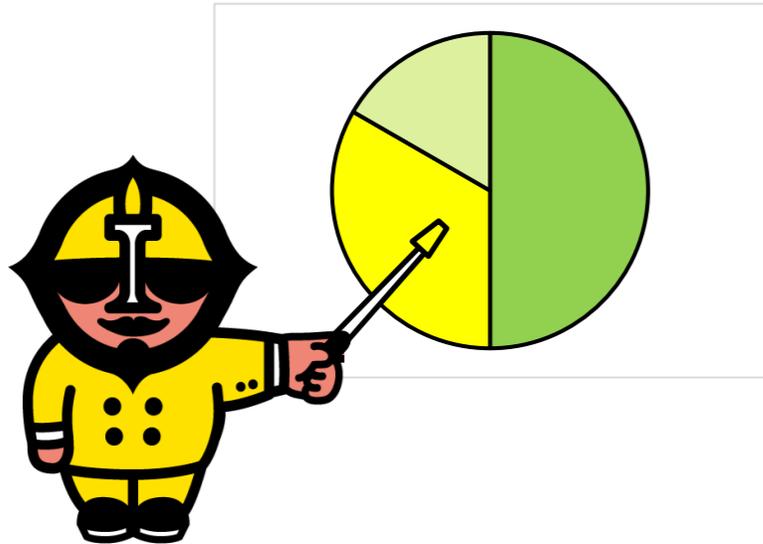


相対利用回数（導入年月を1とした場合の相対値）



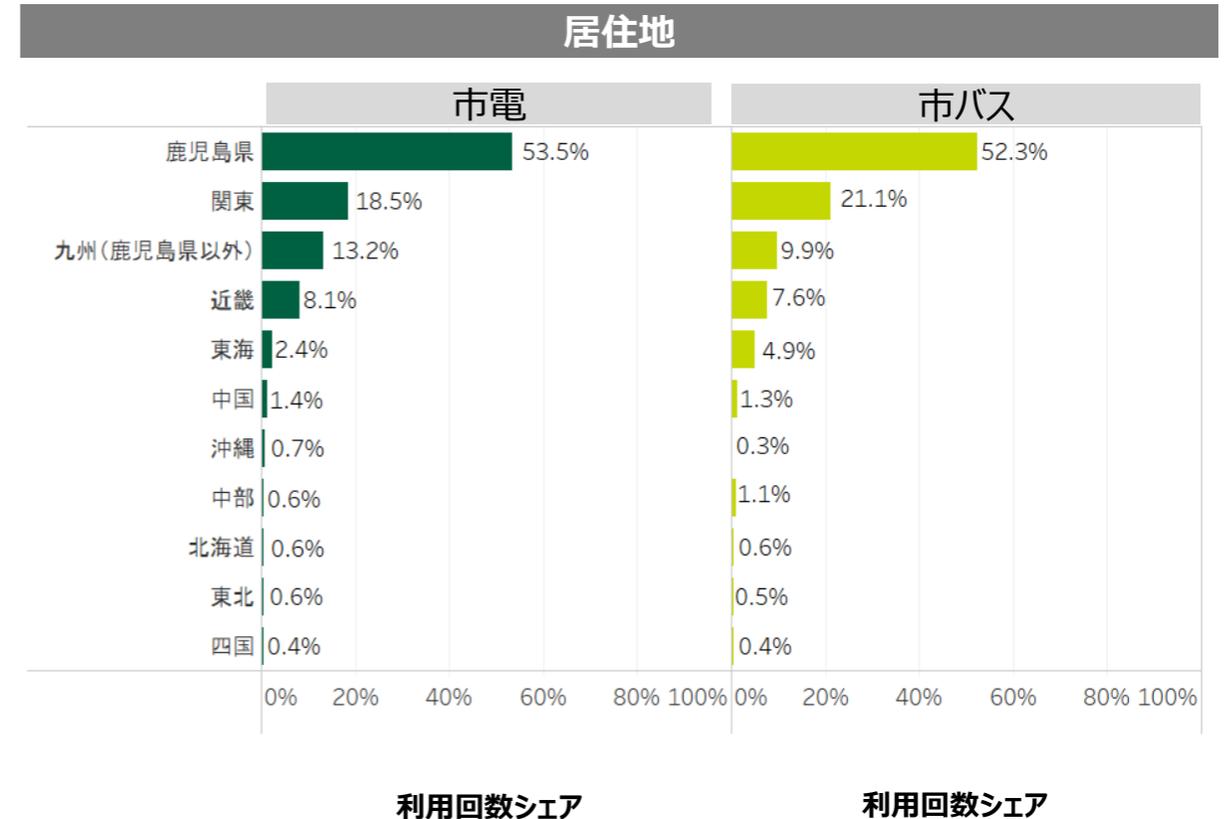
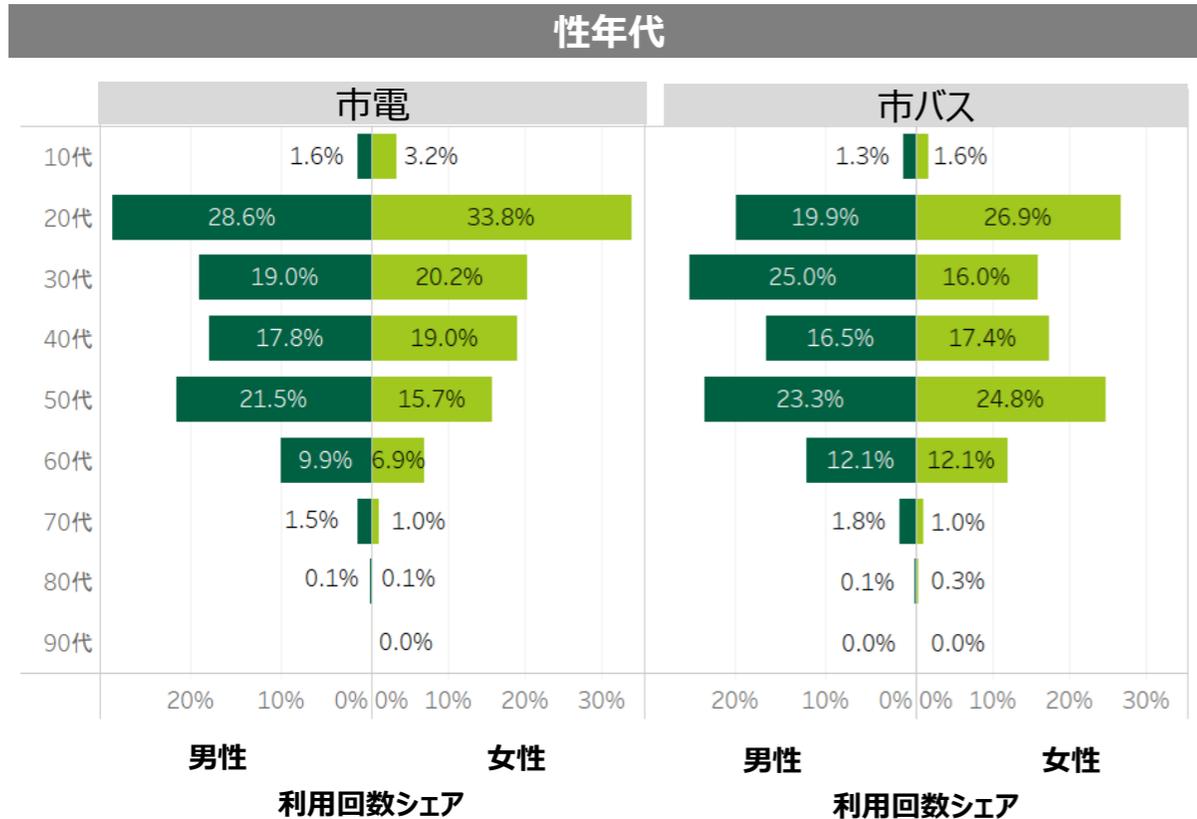


## 2. 利用者属性(SMCC会員)



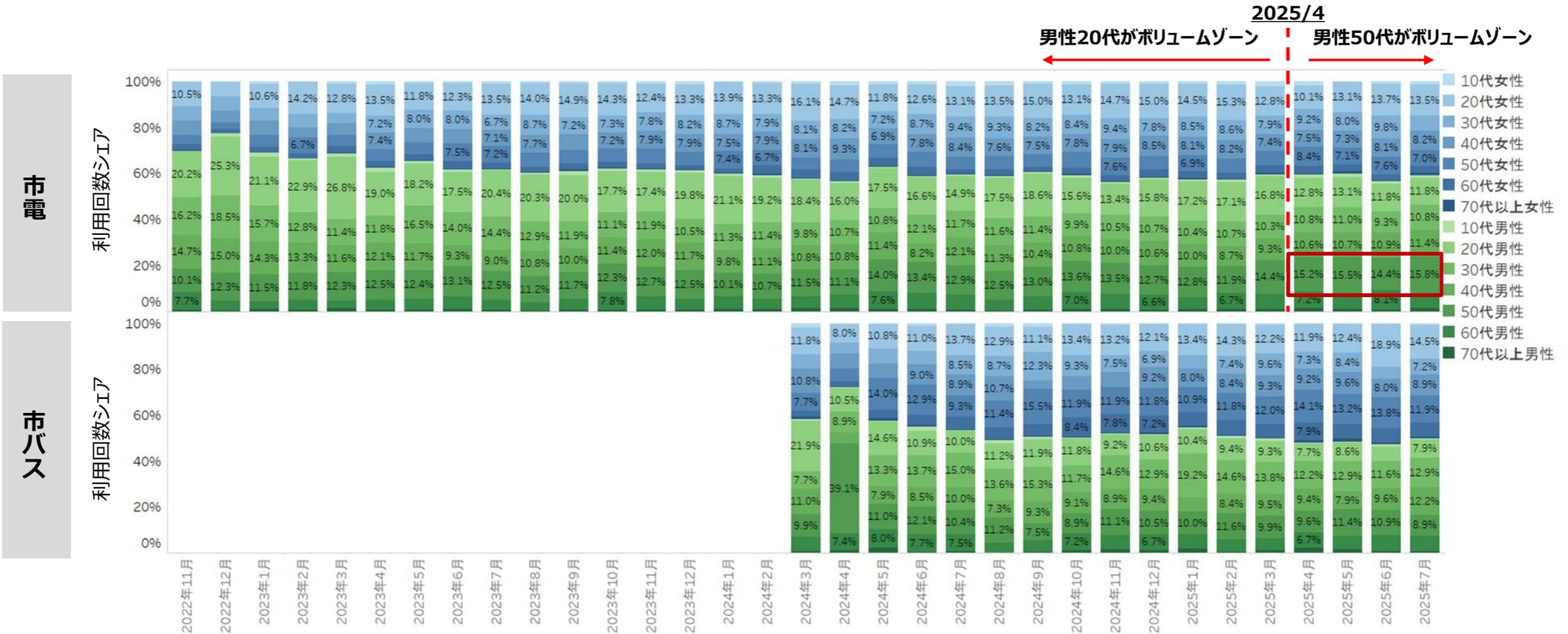


- 市電は20代による利用、バスは20～30代・50代による利用が多い。
- 居住地別で見た場合は鹿児島県内居住者による利用が最も多く、その次に関東、九州（鹿児島県以外）と続く。



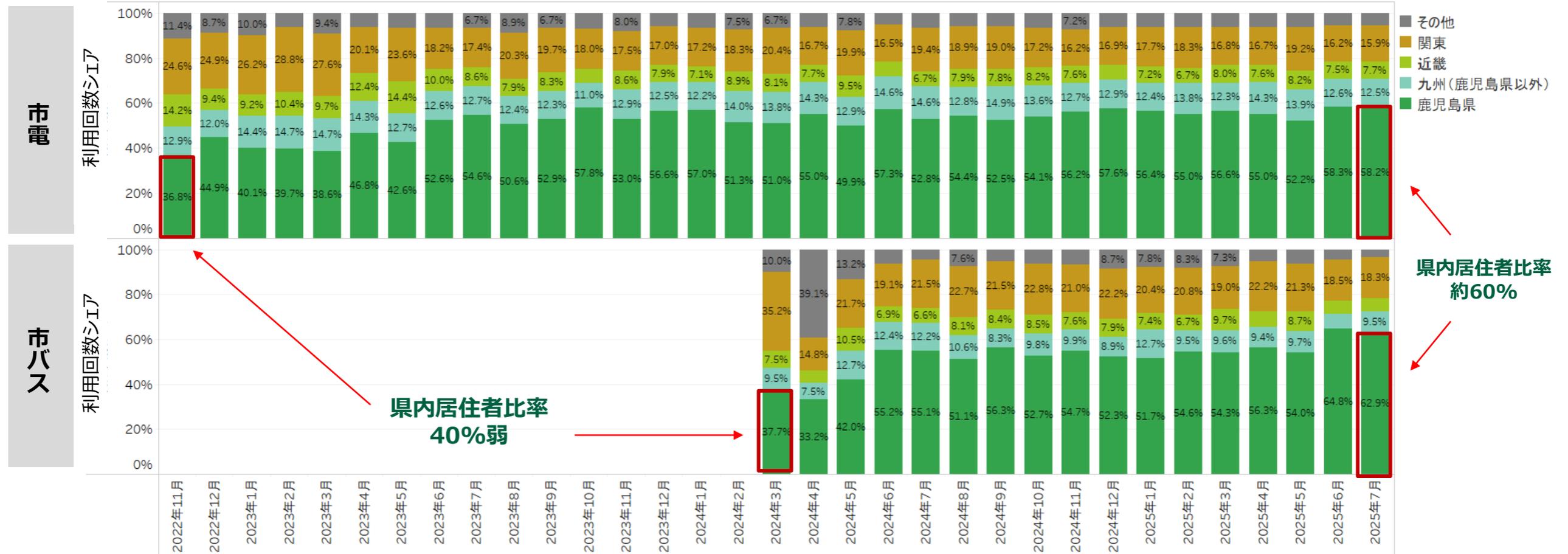


- 市電は、導入年月（2022年11月）から2025年3月まで男性20代がボリュームゾーンであったが、2025年4月以降は**男性50代がボリュームゾーン**となっており、年配の方の利用が広がっている。





- 導入時は市電・市バスともに、鹿児島県居住者の利用回数シェアは40%弱だったが、直近においては60%程度であり、地元での利用が根付いてきていると考えられる。



県内居住者比率  
40%弱

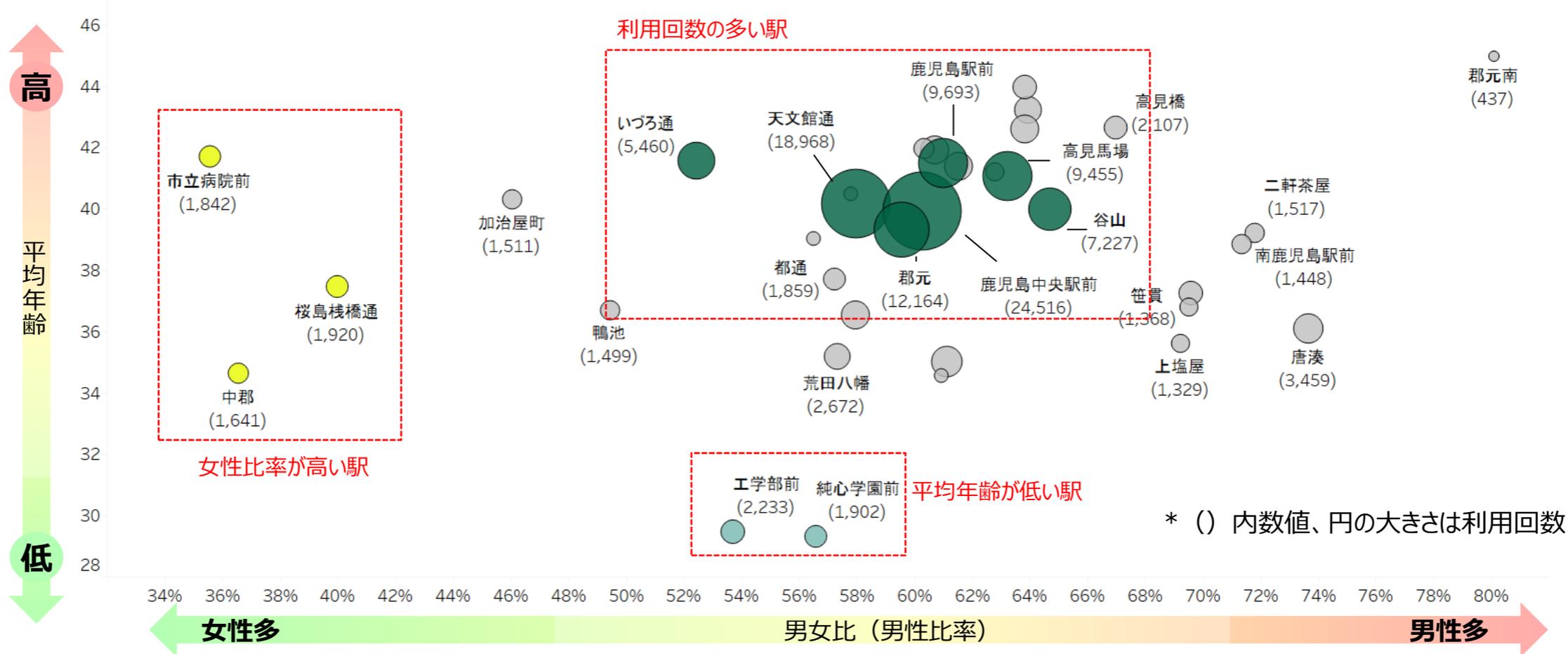
県内居住者比率  
約60%



# 乗車駅別 利用者属性 (SMCC)

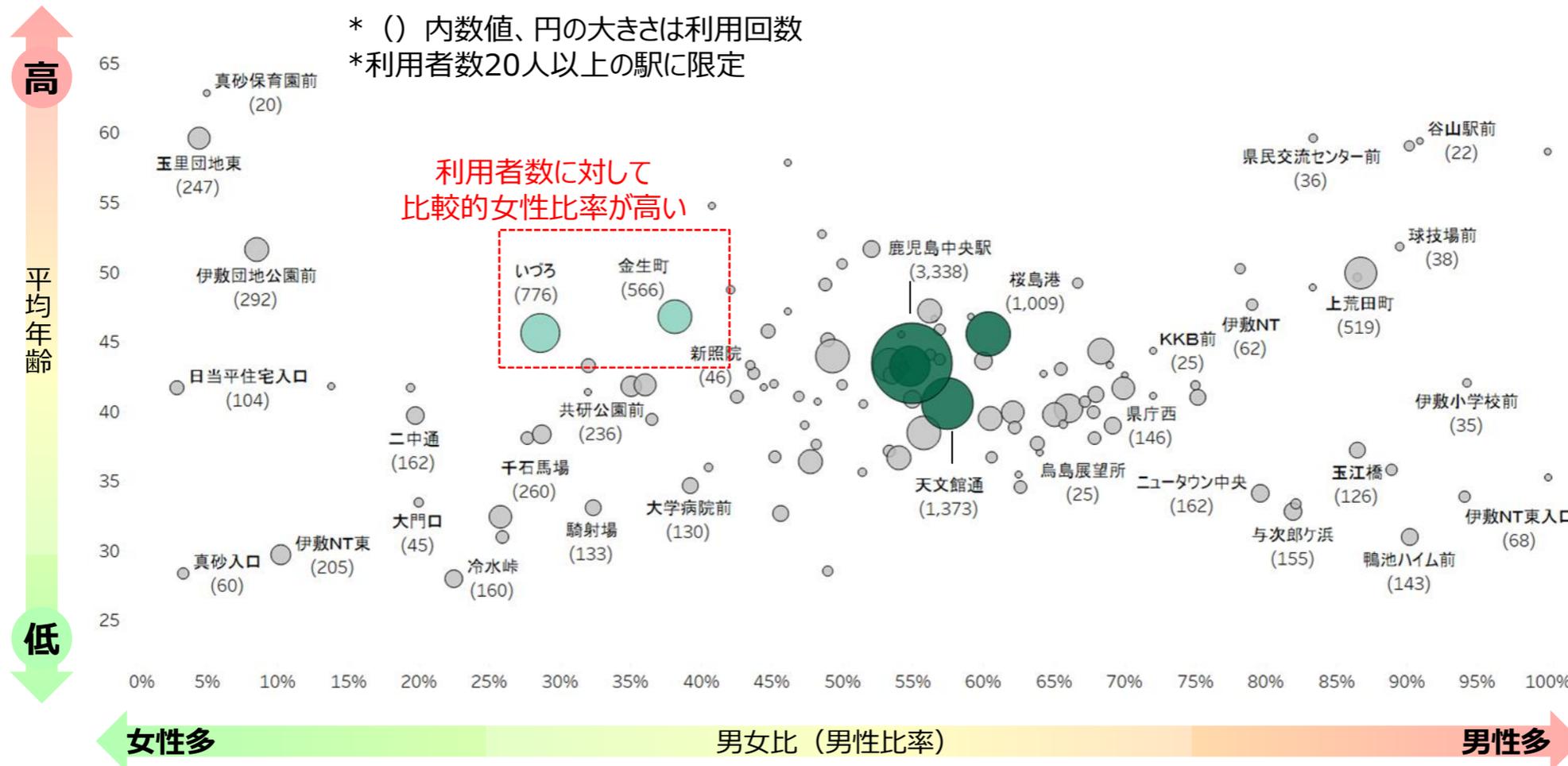


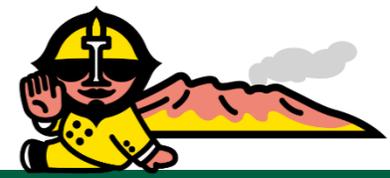
- 「市立病院前」「桜島棧橋通」「中郡」の3駅は女性利用が過半数を超えており、「工学部前」「純心学園前」の2駅は平均年齢が低く、若者に利用される傾向にある。
- 利用回数が5,000回を超える駅（下図では濃緑でプロット）は男性利用がやや多い傾向にあるが、「いづろ通」はその中では比較的女性による利用割合が多い。



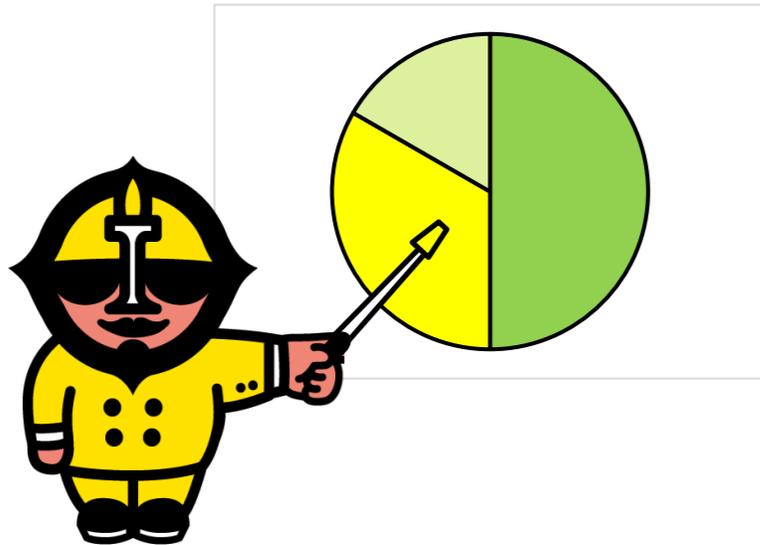


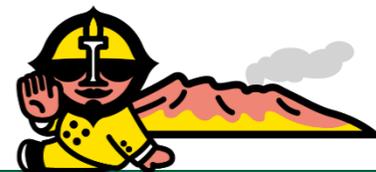
- 利用回数1～3位の「鹿児島中央駅」「天文館通」「桜島港」は、平均年齢42歳程度で男性比率がやや高い傾向にある
- 利用回数が5位の「いづろ」及びその隣駅の「金生町」は、天文館に加えて山形屋にもアクセスしやすく、男女ともに利用する割合が高いと考えられる





# 3. 観光客消費行動





## サマリ① (観光客消費動向)

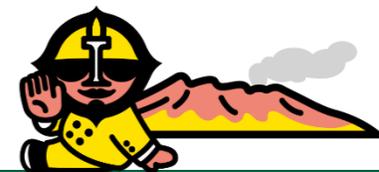
観光客の利用  
駅・ルート傾向

### 鹿児島市内観光の中心は「天文館通」と「鹿児島中央駅」に集中

- 市電の降車回数上位は「天文館通」「鹿児島中央駅」であり、市内居住者と観光客も同様。
- 観光客特有の駅としては「水族館口」「高見橋」「鹿児島駅前」「南鹿児島駅前」が上位に入る。
- 市電では、「鹿児島中央駅前⇔天文館通」が最多で、次いで「鹿児島駅前」や「水族館口」など**観光拠点**を結ぶルートの利用が多い。
- 市バスでは、**観光客と市内居住者の利用傾向が顕著に異なり**、「桜島港」「烏島展望所」「東白浜」など桜島内の停留所が観光客で上位。

考察

- 観光客は「鹿児島中央駅」を起点に「天文館通」を中心に移動しつつ、観光資源が周辺に集中する「桜島港」や「水族館口」「仙巖園前」へのアクセス動線を形成している。
- これらは「市街地観光」と「自然資源観光」の二極構造を反映しており、公共交通を活用した効率的な周遊を求めていると考えられる。



## サマリ② (観光客消費動向)

国・地域別の  
駅・ルート利用  
傾向

### 東アジアは駅前エリア以外にも幅広く利用、欧米は体験・自然志向で利用の違いがみられる

- **市電では、すべての国・地域で「鹿児島中央駅前」「天文館通」への集中が見られる。特に日本人観光客や香港・台湾・韓国・シンガポールの利用傾向が強い。**
- 欧米圏（アメリカ・ヨーロッパ）では「いづろ通」「水族館口」の利用が相対的に高い。
- **市バスでは、欧米豪の観光客が「桜島港⇔湯之平展望所」ルートを多く利用し、桜島観光が強い。**
- **また、東アジアは「水族館前」「仙巖園前」「天文館通」を含む多様な観光ルートを利用している。**

考察

- 訪問目的や文化的嗜好の違いが交通利用にも反映されている。
- **東アジア圏は桜島観光に加え、商業・市街地観光まで幅広く、買い物や食事目的の移動が多い。**
- **一方、欧米圏は自然景観やアクティビティを重視する傾向が強く、桜島や展望所へのアクセスが多い。**



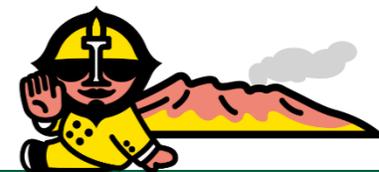
## サマリ③ (観光客消費傾向分析)

③  
移動パターンと  
消費行動の  
関連性

### 中心街・仙巖園ルートで高単価の傾向

日本人

- 市電では「鹿児島駅前」「天文館通」利用者の1日あたり消費単価が最も高く、平均で13,000円となっている。
  - 市バスでは平均単価が15,000円とさらに高く、「桜島港」「仙巖園」「天文館通」の各ルート利用者の高単価傾向がみられる。
  - 日本人観光客は、「ホテル・旅館」「土産」「レンタカー」といった業種への支出が中心で、桜島内、中央駅⇔仙巖園、中央駅⇔天文館通ルートの利用者の消費単価が高い。
- 考察
- 日本人観光客は市電・市バスで「中心市街地＋主要観光地」へ移動することで、宿泊・お土産・レンタカー等多様な消費が発生しやすく、周遊性の高いルートの利用ほど滞在時間や付随消費も増すため、結果的に単価が高くなると考えられる。



## サマリ④ (観光客消費傾向分析) インバウンド

### 中心街・仙巖園ルートで高単価の傾向

③  
移動パターンと  
消費行動の  
関連性

インバ  
ウンド

考察

- 市電では、仙巖園ルート利用者の消費単価が高く、特に台湾・香港・中国の観光客が高い。
- 市バスでは、仙巖園ルートの利用者は消費単価が高い。一方で、桜島ルートは単価がやや低いことが特徴。
- インバウンドは「衣服・家電・スポーツ」等のモノ消費が中心であり、中国や台湾で特に多い傾向。
- インバウンド観光客は体験型や高付加価値商品への関心が高く、仙巖園など文化的価値と買い物要素が融合したルートで滞在・消費額が伸びやすい。
- 一方、自然目的が多い桜島ルートは自然体験が中心となり、土産消費等が生まれづらく単価が低いものと考えられる。

# 市電 ルート別 乗降回数ランキング 観光客



- 観光客と市内居住者ともに、「鹿児島中央駅前」と「天文館通」間のルートが最も多い。
- 一方で、観光客は「鹿児島駅前」や「水族館口」「武之橋」などがランクインしている。

乗降回数ランキング（鉄道、対象期間：2022年11月～2025年7月）

乗降回数ランキング（上位15位まで表示）

順位	観光客		市内居住者
	インバウンド	日本人	
1	鹿児島中央駅前 ⇒ 天文館通	鹿児島中央駅前 ⇒ 天文館通	鹿児島中央駅前 ⇒ 天文館通
2	天文館通 ⇒ 鹿児島中央駅前	天文館通 ⇒ 鹿児島中央駅前	郡元 ⇒ 鹿児島中央駅前
3	鹿児島駅前 ⇒ 鹿児島中央駅前	高見馬場 ⇒ 鹿児島中央駅前	鹿児島中央駅前 ⇒ 郡元
4	郡元 ⇒ 天文館通	鹿児島中央駅前 ⇒ 高見馬場	天文館通 ⇒ 鹿児島中央駅前
5	高見馬場 ⇒ 鹿児島中央駅前	鹿児島駅前 ⇒ 鹿児島中央駅前	谷山 ⇒ 天文館通
6	鹿児島中央駅前 ⇒ 高見馬場	鹿児島駅前 ⇒ 天文館通	唐湊 ⇒ 鹿児島中央駅前
7	鹿児島駅前 ⇒ 天文館通	郡元 ⇒ 天文館通	騎射場 ⇒ 天文館通
8	いづろ通 ⇒ 鹿児島中央駅前	郡元 ⇒ 鹿児島中央駅前	鹿児島中央駅前 ⇒ 唐湊
9	鹿児島中央駅前 ⇒ 水族館口	いづろ通 ⇒ 鹿児島中央駅前	工学部前 ⇒ 鹿児島中央駅前
10	高見橋 ⇒ 天文館通	鹿児島中央駅前 ⇒ 郡元	いづろ通 ⇒ 鹿児島中央駅前
11	鹿児島中央駅前 ⇒ いづろ通	鹿児島中央駅前 ⇒ いづろ通	中郡 ⇒ 鹿児島中央駅前
12	谷山 ⇒ 天文館通	鹿児島中央駅前 ⇒ 水族館口	高見馬場 ⇒ 鹿児島中央駅前
13	天文館通 ⇒ 武之橋	谷山 ⇒ 天文館通	鹿児島中央駅前 ⇒ 高見馬場
14	天文館通 ⇒ 高見橋	鹿児島中央駅前 ⇒ 朝日通	鹿児島中央駅前 ⇒ いづろ通
15	武之橋 ⇒ 天文館通	朝日通 ⇒ 鹿児島中央駅前	純心学園前 ⇒ 鹿児島中央駅前

\*緑色の箇所は、市内居住者において利用回数が上位15位に含まれていない駅を示す



- 観光客と市内居住者の利用回数の多いルートと比較すると、上位15位が全て異なっている。
- インバウンド観光客は、桜島内のルートが多くみられ、更に「仙巖園前⇒水族館前」など観光地を周遊する傾向もみられる。

乗降回数ランキング（バス、対象期間：2024年3月～2025年7月）

乗降回数ランキング（上位15位まで表示）

No	観光客		市内居住者
	インバウンド	日本人	
1	桜島港 ⇒ 湯之平展望所	桜島港 ⇒ 湯之平展望所	玉里団地東 ⇒ 市役所前
2	湯之平展望所 ⇒ 桜島港	湯之平展望所 ⇒ 桜島港	伊敷団地公園前 ⇒ 天文館通
3	鹿児島中央駅 ⇒ 仙巖園前	水族館前 ⇒ 鹿児島中央駅	いづろ ⇒ 玉里団地東
4	仙巖園前 ⇒ 天文館通	鹿児島中央駅 ⇒ 水族館前	千石馬場 ⇒ 玉江小学校前
5	鹿児島中央駅 ⇒ 天文館通	鹿児島中央駅 ⇒ 天文館通	金生町 ⇒ 西伊敷三丁目
6	鹿児島中央駅 ⇒ 水族館前	水族館前 ⇒ 天文館通	伊敷NT東 ⇒ 市役所前
7	水族館前 ⇒ 鹿児島中央駅	天文館通 ⇒ 鹿児島中央駅	いづろ ⇒ 西伊敷三丁目
8	仙巖園前 ⇒ 鹿児島中央駅	仙巖園前 ⇒ 鹿児島中央駅	鹿児島中央駅 ⇒ いづろ
9	水族館前 ⇒ 天文館通	鹿児島中央駅 ⇒ 仙巖園前	鴨池ハイム前 ⇒ 新屋敷
10	鹿児島中央駅 ⇒ 城山	仙巖園前 ⇒ 天文館通	鴨池港 ⇒ 共研公園前
11	仙巖園前 ⇒ 水族館前	市役所前 ⇒ 伊敷中学校前	市役所前 ⇒ 伊敷NT東
12	ビジターセンター ⇒ 湯之平展望所	鹿児島中央駅 ⇒ 城山	伊敷中学校前 ⇒ 鹿児島中央駅
13	仙巖園前 ⇒ 金生町	鴨池港 ⇒ 鹿児島中央駅	二中通り ⇒ 鹿児島中央駅
14	桜島港 ⇒ ビジターセンター	鴨池港 ⇒ 水族館前	玉里団地北 ⇒ 天文館通
15	桜島港 ⇒ 烏島展望所	玉江橋 ⇒ 堅馬場入口	脇田電停 ⇒ 大学病院前



- 「鹿児島中央駅前」と「天文館通」をつなぐルートに利用が偏っており、特に日本人観光客、香港、台湾、韓国、シンガポールにおいてその傾向が強い

		鹿児島中央駅前-天文館通	天文館通-鹿児島中央駅前	高見馬場-鹿児島中央駅前	鹿児島駅前-鹿児島中央駅前	鹿児島中央駅前-高見馬場	郡元-鹿児島中央駅前	郡元-天文館通	鹿児島中央駅前-郡元	鹿児島駅前-天文館通	いつろ通-鹿児島中央駅前	総計
日本人	市内居住者	2.2% 1,466回	1.7% 1,170回	0.9% 603回	0.6% 402回	0.9% 589回	2.2% 1,447回	0.7% 476回	1.8% 1,232回	0.7% 467回	0.9% 633回	100.0% 66,875回
	観光客	8.6% 6,731回	8.2% 6,434回	3.3% 2,617回	2.6% 2,056回	3.1% 2,412回	1.8% 1,448回	1.9% 1,486回	1.6% 1,292回	1.9% 1,513回	1.7% 1,335回	100.0% 78,313回
インバウンド上位10位	中国	6.2% 412回	5.7% 379回	2.4% 156回	3.1% 206回	1.7% 115回	1.3% 88回	2.4% 162回	1.3% 85回	2.1% 140回	1.0% 63回	100.0% 6,618回
	アメリカ	6.2% 395回	4.7% 300回	1.8% 113回	3.4% 214回	1.8% 112回	1.0% 62回	2.6% 163回	0.7% 47回	1.7% 110回	1.1% 72回	100.0% 6,333回
	香港	13.1% 677回	12.5% 645回	3.4% 178回	4.9% 253回	2.3% 121回	0.7% 38回	4.4% 230回	0.3% 15回	2.1% 111回	1.2% 60回	100.0% 5,169回
	韓国	9.7% 413回	9.0% 380回	2.2% 93回	3.3% 140回	2.2% 95回	1.2% 50回	3.0% 128回	1.1% 48回	1.5% 62回	1.1% 48回	100.0% 4,244回
	台湾	11.1% 429回	13.2% 509回	4.6% 177回	4.3% 167回	3.0% 115回	0.6% 23回	2.7% 103回	0.6% 22回	2.0% 79回	1.8% 70回	100.0% 3,869回
	ドイツ	6.1% 147回	6.2% 150回	2.8% 67回	4.5% 108回	1.6% 39回	0.7% 18回	2.9% 71回	0.7% 17回	3.1% 74回	3.4% 81回	100.0% 2,414回
	イギリス	5.8% 131回	5.0% 112回	2.2% 49回	3.4% 76回	1.7% 38回	0.9% 21回	2.9% 65回	0.8% 17回	1.7% 38回	2.4% 55回	100.0% 2,257回
	オーストラリア	6.8% 145回	6.6% 141回	2.7% 57回	3.3% 70回	1.5% 32回	0.9% 19回	2.0% 43回	1.1% 23回	1.2% 25回	1.1% 24回	100.0% 2,135回
	シンガポール	8.6% 153回	7.8% 139回	3.3% 59回	5.1% 90回	1.4% 25回	0.4% 7回	4.3% 76回	0.4% 7回	1.7% 30回	1.4% 25回	100.0% 1,773回
	フランス	5.0% 72回	4.7% 67回	2.0% 29回	4.7% 67回	1.9% 28回	0.8% 11回	4.7% 68回	0.5% 7回	2.2% 31回	3.6% 52回	100.0% 1,437回

\*インバウンドは乗降回数が上位10位の国・地域を上から順に表示  
乗降ルートは全利用者の乗降回数が多い停留所を左から順に表示  
乗降回数シェア = (当該ルートの乗降回数 ÷ 全てのルートの乗降回数の合計)



- いずれの国・地域においても「桜島港」と「湯之平展望所」間のルートが利用回数の上位であり、特に欧米豪ではその傾向が強い。
- 東アジアでは、桜島以外にも「水族館前」や「仙巖園前」「天文館通」を含む、広い観光ルートの利用が多い。

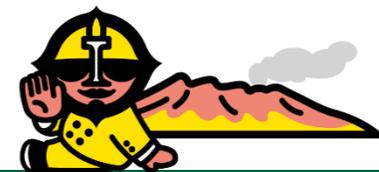
		桜島港-湯之平展望所	湯之平展望所-桜島港	鹿児島中央駅-仙巖園前	水族館前-鹿児島中央駅	鹿児島中央駅-天文館通	鹿児島中央駅-水族館前	仙巖園前-天文館通	水族館前-天文館通	仙巖園前-鹿児島中央駅	鹿児島中央駅-城山	総計
日本人	市内居住者	0.1% 5回	*	0.1% 6回	0.1% 12回	0.5% 50回	0.1% 8回	0.1% 8回	*	0.2% 16回	0.1% 5回	100.0% 9,640回
	観光客	4.0% 458回	3.4% 395回	1.7% 197回	2.9% 339回	2.0% 230回	2.3% 267回	1.7% 196回	2.0% 225回	1.7% 199回	1.1% 125回	100.0% 11,522回
インバウンド上位10位	中国	10.0% 358回	5.3% 190回	3.8% 134回	3.2% 114回	4.4% 157回	3.5% 125回	2.8% 99回	3.4% 121回	2.0% 71回	3.3% 117回	100.0% 3,571回
	アメリカ	10.8% 332回	7.1% 219回	3.2% 99回	2.9% 91回	3.1% 96回	2.5% 76回	2.3% 70回	2.1% 64回	1.9% 59回	1.8% 55回	100.0% 3,086回
	韓国	8.5% 138回	6.6% 106回	3.9% 63回	2.7% 44回	3.5% 57回	1.8% 29回	4.2% 68回	3.0% 48回	2.0% 32回	1.4% 23回	100.0% 1,616回
	香港	9.4% 146回	7.0% 109回	6.2% 96回	4.0% 63回	2.8% 43回	3.1% 48回	5.4% 84回	3.7% 58回	4.3% 67回	1.7% 27回	100.0% 1,557回
	ドイツ	12.5% 188回	11.9% 178回	2.5% 38回	2.3% 34回	3.1% 47回	2.9% 43回	3.9% 59回	1.1% 17回	1.5% 23回	1.8% 27回	100.0% 1,499回
	イギリス	11.1% 129回	10.8% 125回	5.6% 65回	2.9% 34回	1.5% 18回	1.9% 22回	2.6% 30回	0.8% 9回	2.2% 25回	1.8% 21回	100.0% 1,162回
	台湾	9.5% 106回	6.0% 67回	4.4% 49回	3.1% 34回	3.9% 44回	3.9% 43回	3.7% 41回	3.7% 41回	5.3% 59回	4.5% 50回	100.0% 1,114回
	オーストラリア	13.3% 134回	10.9% 110回	3.7% 37回	2.0% 20回	3.2% 32回	2.3% 23回	2.5% 25回	1.8% 18回	1.4% 14回	1.3% 13回	100.0% 1,011回
	シンガポール	10.0% 91回	9.3% 84回	2.9% 26回	2.1% 19回	1.3% 12回	4.3% 39回	3.5% 32回	3.8% 34回	3.9% 35回	3.2% 29回	100.0% 906回
	フランス	13.1% 114回	9.7% 85回	2.6% 23回	1.9% 17回	1.7% 15回	3.1% 27回	2.8% 24回	1.5% 13回	3.4% 30回	0.3% 3回	100.0% 872回

欧米

日本人観光客・東アジア

\*インバウンドは降車回数が上位10位の国・地域を上から順に表示  
乗降ルートは全利用者の乗降回数が多いルートを左から順に表示  
日本人における利用回数が5回未満の箇所は秘匿処理を実施し、\*で記載  
乗降回数シェア = (当該停留所の乗降回数 ÷ 全てのルートの乗降回数の合計)

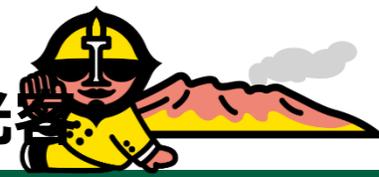
# 市電 国・地域別・ルート別 1人あたり1日消費単価 観光客



- 総計では、日本人観光客が1.3万円と最も高く、次いで、台湾、香港、中国の順に高い。
- また、欧米豪においては、「鹿児島中央駅⇔高見馬場」ルート利用者の単価が高い傾向があった。
- 「鹿児島駅前」や「天文館通」を含むルート利用者の1日消費単価が比較的高い傾向がみられた。

		鹿児島中央駅 前-天文館通	天文館通-鹿児 島中央駅前	高見馬場-鹿児 島中央駅前	鹿児島駅前-鹿 児島中央駅前	鹿児島中央駅 前-高見馬場	郡元-鹿児島中 央駅前	郡元-天文館通	鹿児島中央駅 前-郡元	鹿児島駅前-天 文館通	いづろ通-鹿児 島中央駅前	総計
日本人	市内居住者	9,774円	8,982円	11,057円	9,798円	7,969円	9,018円	8,670円	8,781円	10,099円	9,897円	8,040円
	観光客	15,041円	13,478円	16,258円	16,629円	14,334円	11,763円	21,239円	12,670円	10,677円	12,922円	<u>13,377円</u>
インバウンド上位10位	アメリカ	6,748円	8,631円	8,185円	14,168円	23,147円	2,605円	8,208円	10,161円	10,122円	4,536円	7,681円
	中国	7,267円	8,697円	4,576円	10,731円	7,336円	2,848円	13,517円	2,680円	28,046円	12,447円	<u>8,005円</u>
	韓国	6,945円	7,634円	4,778円	12,650円	5,762円	5,724円	11,284円	4,070円	17,205円	7,283円	6,486円
	香港	8,396円	6,616円	8,622円	11,647円	9,864円	1,111円	15,394円	3,742円	11,291円	6,762円	<u>8,761円</u>
	ドイツ	4,605円	3,147円	4,114円	9,208円	3,844円	14,823円	8,040円	14,281円	4,031円	4,850円	5,213円
	台湾	9,450円	10,011円	16,000円	22,380円	7,863円	4,490円	9,857円	2,447円	20,722円	16,206円	<u>11,516円</u>
	イギリス	3,678円	4,868円	3,063円	4,952円	15,749円	3,293円	5,954円	1,336円	9,484円	10,865円	5,864円
	オーストラリア	6,034円	6,087円	5,266円	4,201円	8,162円	3,168円	8,679円	6,083円	2,606円	4,902円	6,537円
	フランス	3,749円	7,430円	14,979円	25,286円	19,729円	4,076円	6,067円	1,145円	3,593円	7,657円	7,736円
	シンガポール	5,973円	3,238円	4,252円	7,680円	2,873円	1,300円	14,640円	2,154円	1,962円	8,284円	5,926円

\*インバウンドは降車回数が上位10位の国・地域を上から順に表示  
乗降ルートは全利用者の乗降回数が多いルートを左から順に表示  
1日消費単価 = (該当ルート利用者の費総額 ÷ 該当ルート利用者の日別延べ人数)



- 1人あたりの1日消費単価の総計では、日本人観光客が1.5万円と最も高い。次いで、中国、アメリカ、台湾の順に高い。
- 日本人観光客は、桜島内ルート、中央駅⇔仙巖園、中央駅⇔天文館通ルートを利用者の消費単価が高い傾向がみられた。
- インバウンド観光客は、仙巖園ルート利用者の単価は高い傾向がある。一方で、桜島ルート利用者の単価はやや低い傾向があった。

		桜島港-湯之平展望所	湯之平展望所-桜島港	水族館前-鹿児島中央駅	水族館前-天文館通	仙巖園前-天文館通	鹿児島中央駅-水族館前	鹿児島中央駅-天文館通	仙巖園前-鹿児島中央駅	鹿児島中央駅-仙巖園前	天文館通-鹿児島中央駅	総計
日本人	市内居住者	*	*	*	*	*	1,731円	7,719円	6,990円	*	16,592円	8,682円
	観光客	24,725円	16,990円	15,031円	17,657円	14,579円	16,362円	18,939円	17,876円	23,226円	19,869円	15,412円
インバウンド上位10位	アメリカ	8,654円	3,519円	17,668円	4,875円	7,510円	7,689円	60,962円	7,663円	6,632円	10,910円	10,004円
	中国	9,224円	5,787円	9,119円	9,875円	14,519円	10,164円	16,738円	11,706円	15,313円	3,635円	10,643円
	ドイツ	4,382円	3,659円	12,998円	3,878円	3,353円	2,717円	7,133円	4,242円	5,601円	4,921円	4,822円
	韓国	6,479円	4,137円	7,225円	6,306円	3,653円	5,862円	8,248円	16,862円	9,078円	11,372円	6,749円
	イギリス	4,127円	4,255円	5,379円	2,767円	2,897円	4,435円	3,326円	4,312円	1,832円	1,476円	5,222円
	オーストラリア	4,924円	4,237円	3,009円	3,248円	3,891円	1,941円	3,889円	4,474円	5,134円	1,068円	6,558円
	フランス	4,842円	3,223円	3,066円	3,774円	5,549円	2,556円	3,044円	4,290円	3,439円		5,217円
	香港	7,203円	4,059円	12,057円	7,076円	9,722円	10,267円	6,218円	9,474円	3,062円	7,368円	7,778円
	台湾	6,911円	5,607円	6,906円	4,321円	13,609円	2,393円	36,484円	9,533円	9,758円	11,560円	8,784円
	シンガポール	3,201円	3,950円	7,211円	4,815円	5,521円	6,211円	7,474円	4,345円	4,092円	8,257円	6,024円

\*インバウンドは乗降回数が上位10位の国・地域を上から順に表示  
 乗降ルートは全利用者の乗降回数が多いルートから左から順に表示  
 日本人における人数が5人未満の箇所は秘匿処理を実施し、\*で記載  
 1日消費単価 = (該当ルート利用者の消費総額 ÷ 該当ルート利用者の日別延べ人数)



- 利用率と金額シェアの両方において、**宿泊と移動に係る業種が観光客と市内居住者で差が大きい。**

利用率			
業種分類	① 観光客	② 市内居住者	スプレッド ①-②
公共交通機関	36.1%	21.1%	15.0 pt
ホテル・旅館	20.1%	8.0%	12.0 pt
土産	10.7%	2.3%	8.3 pt
航空・フェリー	10.6%	3.9%	6.7 pt
レンタカー	3.7%	1.1%	2.5 pt
テーマパーク・ 娯楽施設	6.8%	6.5%	0.3 pt
自転車関連	0.1%	0.1%	0.0 pt
美容品	0.0%	0.1%	-0.1 pt
服飾小物	0.0%	0.1%	-0.1 pt
スポーツ観戦	0.0%	0.2%	-0.1 pt

金額シェア			
業種分類	① 観光客	② 市内居住者	スプレッド ①-②
ホテル・旅館	22.4%	4.6%	17.7 pt
公共交通機関	13.3%	5.4%	7.9 pt
レンタカー	2.6%	0.3%	2.4 pt
飲食店（カフェ含）	8.0%	6.5%	1.5 pt
土産	1.6%	0.1%	1.5 pt
飲食小売 （テイクアウト等）	1.5%	0.7%	0.8 pt
テーマパーク・ 娯楽施設	1.4%	0.9%	0.5 pt
タクシー	0.8%	0.8%	0.5 pt
家具・インテリア	1.1%	0.9%	0.2 pt
旅行代理店	0.5%	0.4%	0.1 pt



- インバウンド観光客は、日本人観光客と比較すると「衣服小売」「家電」「スポーツ・アウトドア」のモノ消費が特徴的。

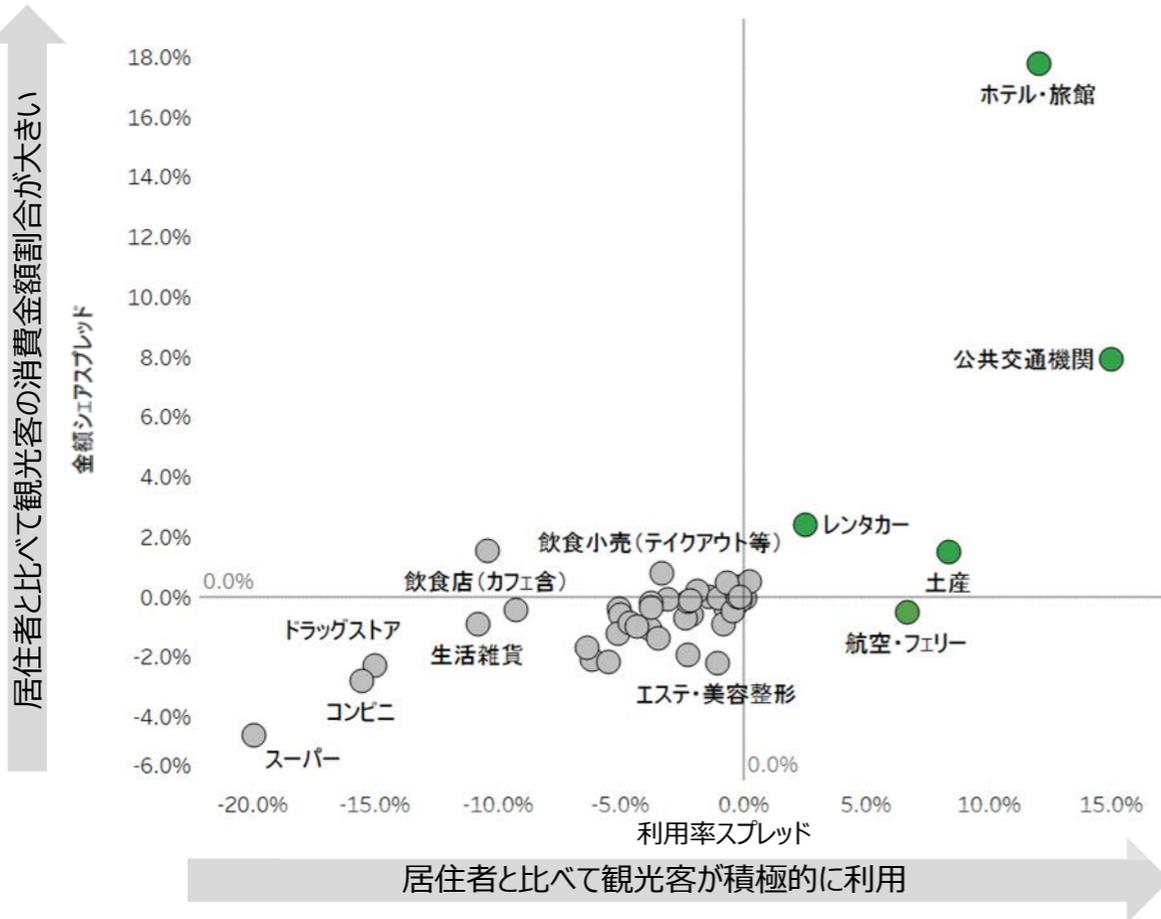
利用率			
業種分類	① インバウンド 観光客	② 日本人 観光客	スプレッド ①-②
コンビニ	51.3%	38.2%	13.1 pt
航空・フェリー	15.8%	10.6%	5.1 pt
衣服小売	6.0%	2.8%	3.2 pt
飲食店（カフェ含）	26.6%	24.0%	2.6 pt
テーマパーク・娯楽施設	8.4%	6.8%	1.6 pt
家電	3.0%	1.7%	1.4 pt
スポーツ・アウトドア	2.0%	1.4%	0.6 pt
玩具・娯楽品	0.4%	0.2%	0.2 pt
生活雑貨	3.4%	3.3%	0.1 pt
本・雑貨・新聞	2.2%	2.2%	0.0 pt

金額シェア			
業種分類	① インバウンド 観光客	② 日本人 観光客	スプレッド ①-②
コンビニ	11.4%	3.7%	7.7 pt
衣服小売	6.2%	1.1%	5.0 pt
飲食店（カフェ含）	12.8%	8.0%	4.8 pt
スポーツ・アウトドア	5.6%	0.9%	4.7 pt
家電	5.2%	1.5%	3.7 pt
テーマパーク・娯楽施設	4.0%	1.4%	2.6 pt
服飾小物	1.8%	0.1%	1.8 pt
ドラッグストア	2.6%	0.9%	1.7 pt
本・新聞・雑誌	1.7%	1.4%	1.3 pt
居酒屋	2.8%	1.6%	1.2 pt

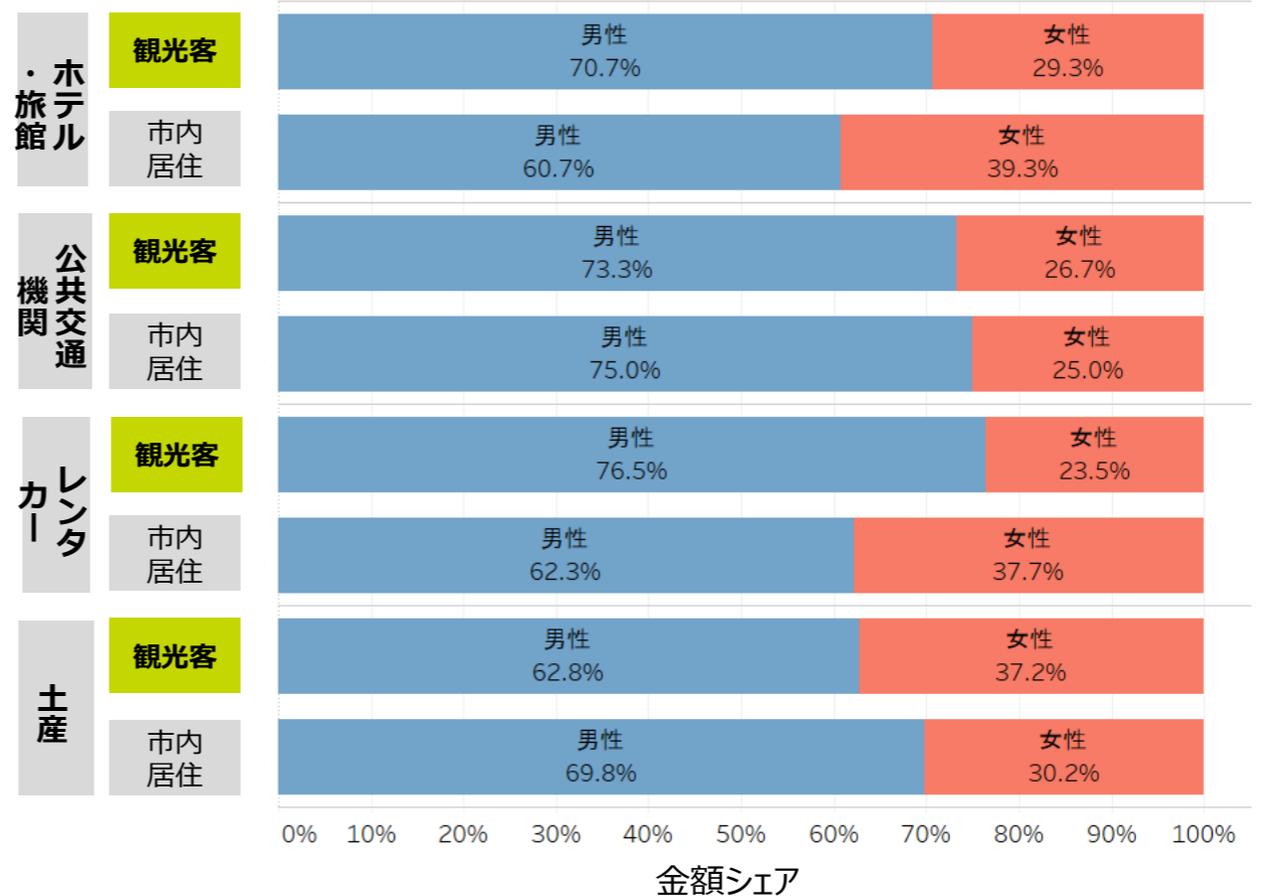


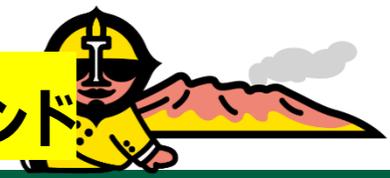
- 利用率と金額シェアから、「公共交通機関」「ホテル・旅館」「土産」「レンタカー」が観光客の利用が特徴である。
- 市内居住者と比較すると、「公共交通機関」「土産」は女性比率が高い。

利用率・金額シェア スプレッド散布図

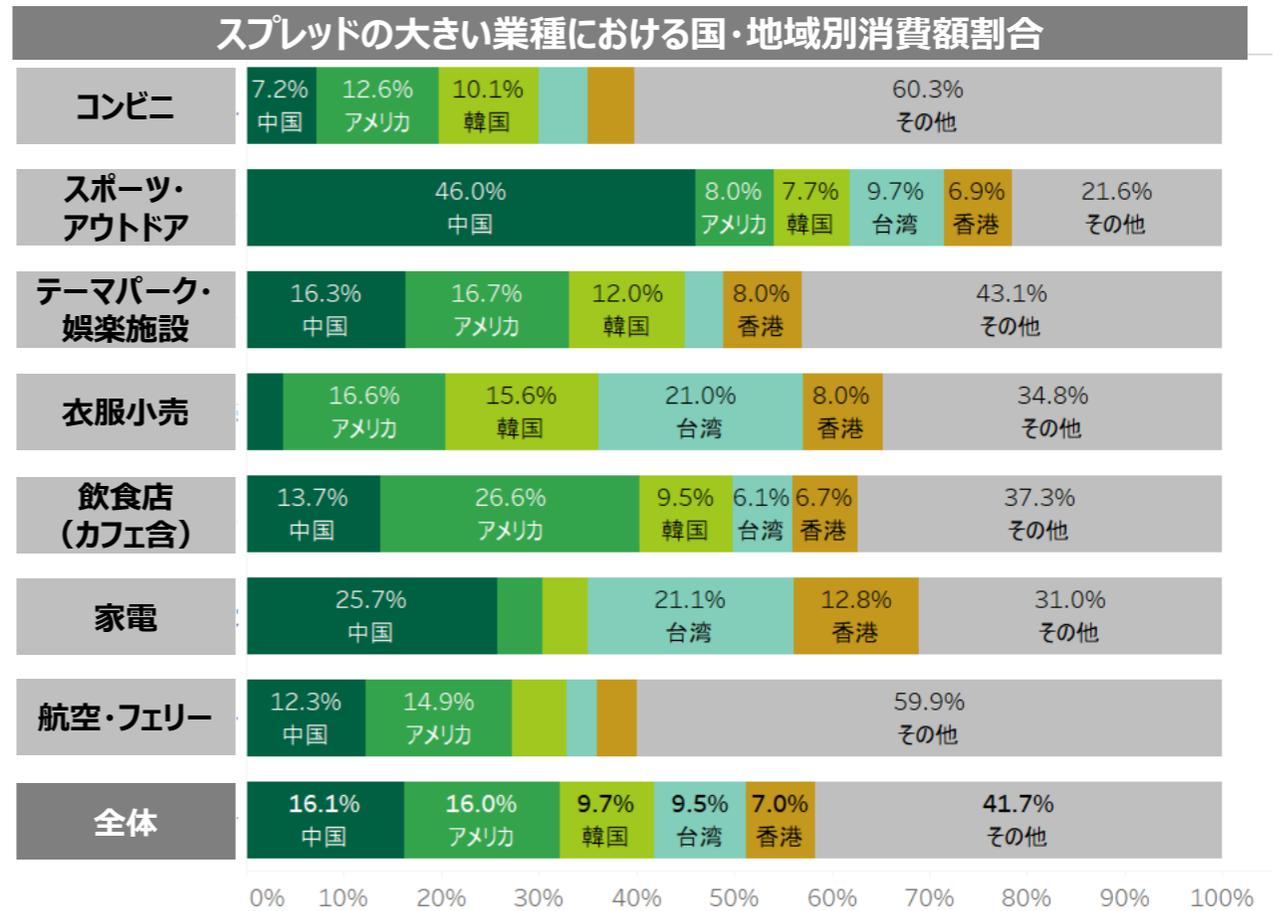
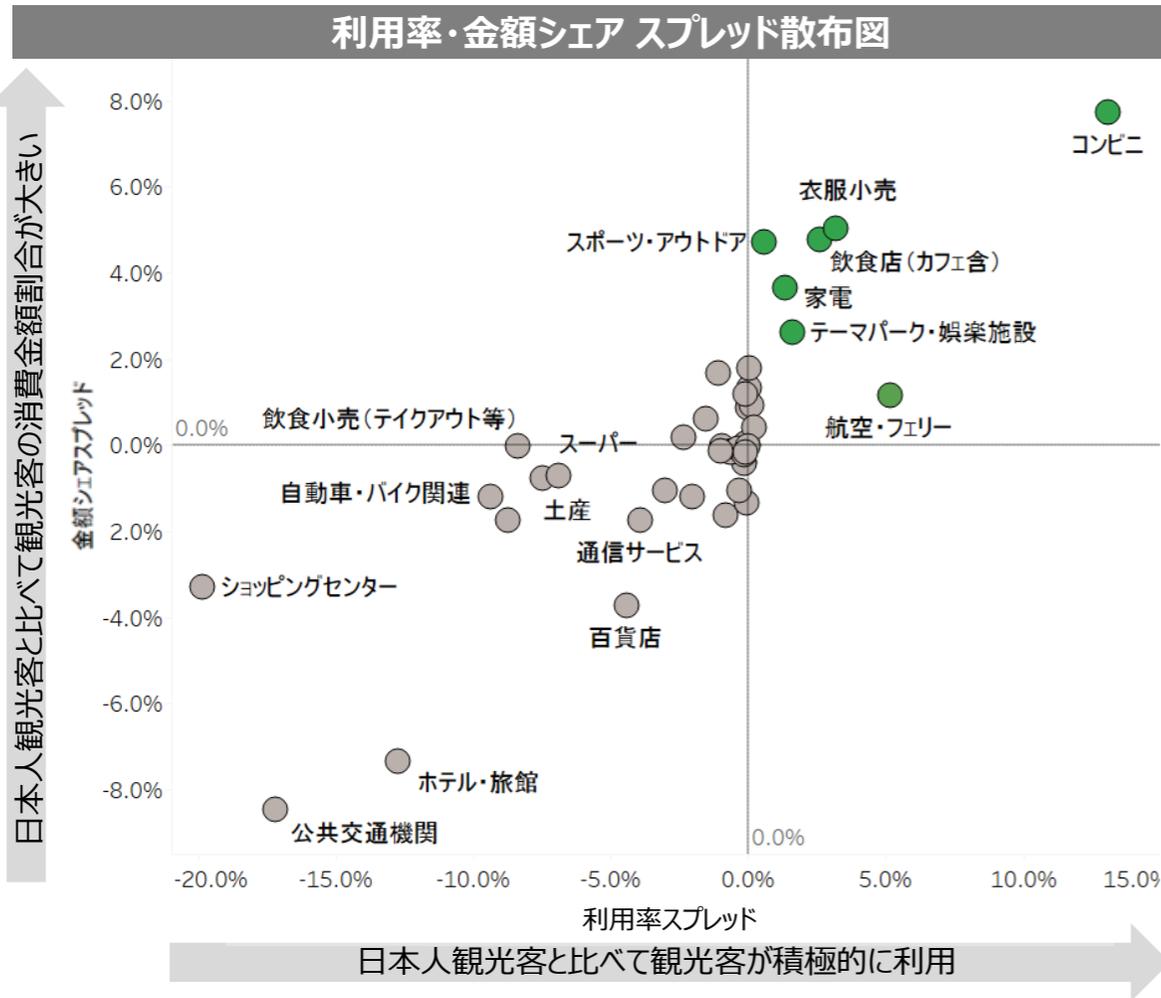


スプレッドの大きい業種における性別内訳

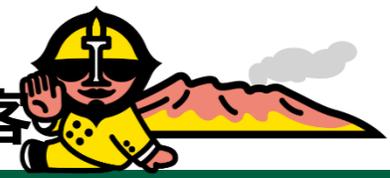




- ・インバウンドは、日本人観光客と比較すると「衣服小売」や「家電」などのモノ消費が利用率と金額シェア共に高い。
- ・「スポーツ・アウトドア」「衣服小売」「家電」などのモノ消費においては中国や台湾が特に多い傾向がある。



\*消費額割合上位5国・地域のみ名称を記載、それ以外は「その他」として集計

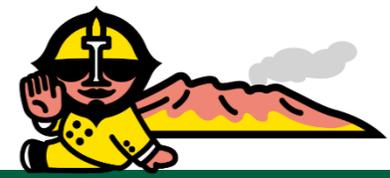


- 利用者が多い駅を見ると「鹿児島中央駅前」「天文館通」が上位にあがっている。
- 「ホテル・旅館」では「高見馬場」や「城山」近辺が上位に入ってくるのが特徴である。

順位	市電			
	ホテル・旅館	レンタカー	公共交通機関	土産
1	高見馬場	高見橋	鹿児島中央駅前	水族館口
2	鹿児島中央駅前	鹿児島中央駅前	水族館口	鹿児島中央駅前
3	朝日通	武之橋	唐湊	武之橋
4	水族館口	高見馬場	武之橋	天文館通
5	天文館通	天文館通	天文館通	高見橋

順位	市バス			
	ホテル・旅館	レンタカー	公共交通機関	土産
1	薩摩義士碑前	共研公園前	九州電力前	東白浜
2	九州電力前	桜島港	城山	西郷銅像前
3	西郷銅像前	鹿児島中央駅	東白浜	薩摩義士碑前
4	城山	天文館通	仙巖園前	水族館前
5	仙巖園前	*	水族館前	湯之平展望所

人数が5人未満の箇所は秘匿処理を実施し、\*で記載



- 市電においては、「鹿児島駅前」の利用者が各業種の利用率が高く、バスでは、桜島の停留所利用者が各業種の利用率が高い。

順位	市電					
	コンビニ	スポーツ・アウトドア	テーマパーク・娯楽施設	衣服小売	飲食店(カフェ含)	家電
1	高見橋	脇田	南鹿児島駅前	上塩屋	高見橋	高見橋
2	水族館口	武之橋	市役所前	高見橋	武之橋	朝日通
3	南鹿児島駅前	天文館通	高見橋	鹿児島中央駅前	水族館口	鹿児島中央駅前
4	鹿児島駅前	鹿児島駅前	水族館口	水族館口	鹿児島駅前	いづろ通
5	武之橋	高見橋	純心学園前	鹿児島駅前	天文館通	天文館通

順位	市バス					
	コンビニ	スポーツ・アウトドア	テーマパーク・娯楽施設	衣服小売	飲食店(カフェ含)	家電
1	桜島病院前	城山	ビジターセンター	海づり公園前	桜島病院前	湯之平展望所
2	赤水湯之平口	与次郎一丁目	烏島展望所	城山	国際火山砂防センター	水族館前
3	黒神中学校前	仙巖園前	水族館前	与次郎一丁目	赤水湯之平口	仙巖園前
4	国際火山砂防センター	湯之平展望所	鹿児島駅(かんまちあ)前	水族館前	石橋記念公園前	鹿児島中央駅
5	桜洲小学校	いづろ	湯之平展望所	仙巖園前	ウォーターフロントパーク前	桜島港